

尚 和 会 報 2018

平成30年5月1日

思い出とともに広がる同窓の輪

Vol.066



尚和会総会のご案内 平成30年5月20日(日)

ホテルアイボリーにて(豊中駅東口すぐ ☎06-6849-1111)

- ◆総会 オーキッドホール 12:00~12:45
- ◆アトラクション「落語家 桂 花團治 師匠」 13:00~13:30
- ◆懇親会(食事はシッティング・buffestail) 13:35~15:30
- ◆お楽しみ抽選会
- ◆会費 4,000円(2014年卒業全日制66期、定時制64期以降の会員は半額)

アトラクション出演者



「口は にぎわいのもと」

落語家
桂 花團治 師匠
(桜塚高校 1981年(全日制33期)卒業)

2015年4月、「三代目桂花團治」を襲名。以降、東京での独演会・名古屋の大須演芸場出演など、活躍の場を全国に広げている。
・大阪青山大学健康科学部こども教育学科客員教授
・放送芸術学院専門学校講師
・府立桃谷高等学校校定時制夜間部 特別非常勤講師

最近自身自身の経験や悩みから導きだしたコミュニケーション論が評判を呼び、多くの教育機関で教鞭をとる。企業・自治体からの研修依頼も絶えず、自他ともに認める「大阪で一番多く教壇に立つ落語家」である。

20歳の時に故二代目桂春蝶の高座に一目惚れし入門。「桂蝶六」を名乗って古典落語に心血を注ぐ傍ら、甲高い声に対するコンプレックスを解消するべく、約20年間大蔵流狂言方の元で狂言を学び、一時はその「声」を活かした演目に定評がある。

1962年生まれ。桜塚高校1981年卒業(33期)。小学時代にいじめを漫才で克服したことから、笑いの効力を知り、桜塚高校入学時に「一人でやる漫才」との勧誘を受け落語研究会に加入したことが落語にハマるきっかけとなる。

落語家 桂 花團治師匠

Contents

ご挨拶 新会長・前会長・校長・准校長.....	2	会員の皆さまから.....	11
創立八十周年記念式典を終えて.....	3	物故者芳名.....	19
学校だより(全日制).....	4	平成29年度 会報代・協力金.....	19
学校だより(定時制).....	7	尚和会役員紹介.....	23
尚和会通信.....	10	尚和会決算・予算報告.....	23
母校創立八十周年記念 尚和会総会報告.....	10	東京支部だより.....	24

会長就任のご挨拶



尚和会会長
後藤 保二
(全日制23期)

この度、大畠前会長ご勇退の後を受けて尚和会会長に就任いたしました。全日制23期の後藤保二でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

私が尚和会会長という重責をお引き受けしたのは、今日の私があるのは母校桜塚高校のお陰であり、少しでもそのご恩返しをしたいと思つたからです。

大学四年の時、教職を目指して大阪府立高校の教員採用試験を受けましたが、力不足のため不合格。就職浪人を覚悟していたとき、母校から国語科の非常勤講師のお誘いを頂きました。当時の国語科には、私が二、三年の間担任をして頂いた井上まさ先生を始め、井須隆一郎先生、佐藤宏明先生、倉田順雄先生、野曾原斌先生、校内理事の山本孟先生などの諸先生方がいらつしやうて、大学を出たの未熟な私を温かく指導してくださいました。講師を二年間務めた後教員採用試験になんとか合格できたのも、先生方のご指導のお陰です。そうしてそのまま母校の国語科教諭として着任したのが昭和五十二年、創立四〇周年の年でした。私も校内理事に加えて頂いたのが、尚和会活動とご縁の始まりでした。担任として33期と40期を担当し、クラブ顧問は私が高校在学中に所属していた落語研究会とラグビー部の顧問を担当し、生徒自治会顧問として体育祭や文化祭の運営にも当たりました。母校では十一年間勤務し、創立五〇周年の翌年他校に異動しました。そうして今年三月末、府立高校を退職いたしました。

これからは尚和会会長として同窓会と母校の益々の発展に、微力ではございますが全力を尽くす所存です。そのためにも同窓生の皆様方のお力添えを是非お願い申し上げます。会長就任のご挨拶いたします。

会長退任にあたって



前会長
大畠 光昭
(全日制15期)

「先日、四国八十八ヶ所遍路巡りで願を懸けて来たんだが、是非次期尚和会会長を引き受けてくれないか」

十年前の春まだ浅き昼下がり、当時、役員候補者指名委員会委員長の高津氏（高全三期男性初代第七代尚和会会長）より携帯電話へこう言つてかかって来た時のことは今でも鮮明に記憶しています。大阪市内堺筋と長堀通りの交差点でした。

まだ現役のサラリーマンの身、会長職たる大役はとて無理だと思つたものの、我が愛する母校、その同窓会尚和会の会長職、誰かがやらなければ……。高津氏のお遍路姿が脳裏をよぎり、その熱意に頭の下がる思いがしてすぐに二つ返事でお引き受けしたのでした。

図らずも会長の席を与えられましてから早くも十年になんなんとする星霜が経過いたしました。歴代会長の中で最長の期間、それも七十三歳での退任も初めてのことでした。副会長職からすると二十二年、人生の三分の一近くを尚和会に関わっていたことになりまふ。大先輩の高女の方々ははじめ、若い期の会員まで実に多くの人たちと親しくさせて頂きました。就任中三度がん手術で入院を繰り返し、役員、理事、評議員各位には運営面で大

変ご迷惑をお掛けしたことに対し、ここに紙面をお借りしお詫び申し上げます。

在任中、西郷正人氏、小山正辰氏、加藤孝之氏、中田裕省氏の4名の学校長をはじめ、多くの教職員の方々と意見交換をし、将来を見据えてオール桜塚として、尚和会は何をすべきか何が出来るか試行錯誤した十年でした。

また、会員の皆様の永年のご支援ご協力の結果、昨年七月、尚和会創設以来初めて、母校の教育環境の改善整備に多大なる支援とその功績の顕著さに対し、中田裕省学校長より校庭の全校生徒の前、朝礼台上で感謝状を授与され、教職員と生徒諸君に一言謝辞を述べさせて頂いたご身に余る光栄でした。

十年の間、いろんな印象に残る出来事は星の数ほどありました。思いつくままその中の一部を列挙しますと、創立七十五周年記念事業で恵風苑・恩路園の大整備（平成二十四年五月）、東日本大震災被災地へ即百万円寄付（平成二十三年四月）、桜花祭（文化祭）に尚和会として初出席（平成二十四年九月）、硬式野球部OB会・マスターズ甲子園大阪府代表出場・感涙の校歌流れる（平成二十三年十一月）、校庭北側塀・国の登録有形文化財認定（平成二十一年一月）、枝垂れ桜鑑賞会一般公開（平成二十四年四月以後毎年開催）母校制服新デザインに（平成二十三年四月）、「行きたい高校」に母校が府下ナンバーワンに選出（平成二十五年秋）、「校長先生！お願いがありました」。

桜塚高校は四年制にして下さい！」某三年男子生徒の直訴、楽しい桜塚校生活を三年間で卒業は寂しいと思つて（某年卒業式）、岩手県立大榎高等学校と「さくら協定」締結・大榎高校と復興祈念の交流野球試合・豊中ローズ球場（平成十四年八月）、創立八十周年記念事業実行委員会事業内容等で紛糾（平成二十七年）、尚和会館

諸設備更新（通年）、体育祭に尚和会参加種目追加（平成二十八年六月）、東京支部の位置付けと会則改正審議（平成二十五年）等ですが、やはり最大のイベントは昨年五月ヒルトン大阪にて開催の創立八十周年記念総会で、予想以上の三百五十余名の参加者があり大盛況でした。念願の詰襟の桜塚の学制服を五十五年ぶりに着用しての会長挨拶や鏡割は最高の思い出となりました。参加者の膨大な数のスナップ写真の中で、どうしてもお名前とお顔が不明な方も多数あり、一人一人の住所を頼りに初夏の蒸し暑い中、個別訪問し自分の写真を探してもらい手渡せた時は本当にホツとしたものです。又、引き続き十一月には新装なった豊中市立文化芸術センター大ホール他を貸し切つて、母校主催のオール桜塚で創立八十周年記念式典を挙行、実行委員長としての重責を無事全う出来ましたことは偏に地域、母校、尚和会の皆様方のお蔭と感謝いたす次第です。

母校が将来の九十周年、百周年に向けて益々発展されますよう、新役員体制のもと、尚和会会員各位の一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。ありがとうございました。合掌

校長あつち



学校長
田中 裕省

昨年度平成29年4月に第22代校長として着任いたしました中田裕省（なかつひろみ）でございます。伝統ある桜塚高校に着任し、また80周年記念式典のまたとない機会に恵まれ、気持ちを引き締まる思いでありました。正門前で最初に目に留まりました。

は、しだれ桜であります。桜塚高校の名前に相応しい立派な桜だと感じました。中庭でも、たくさん種類の桜が時を少しづつかえ満開を迎え、ほほびと月もの長い間、楽しませていただきました。

すばらしい恩露園、恵風苑がありますが、これらは創立当時に保護者会から学校に寄贈され、校舎改築後は、卒業生である尚和会様のご尽力で移設できたと教えていただき、素晴らしい同窓会だと思えました。そして平成29年は、創立80周年記念の年にあたり、私はたくさん卒業生の方と、ご縁をいただいたと感謝しております。

校長として、桜塚高校の素晴らしい実践であると感じましたこと等を紹介させていただきます。

1つ目は、学力UPの取組みです。普通科の中にさらに、グローバルリーダーをめざすコミュニケーションとサイエンスのコースを設置していること。「習慣は才能を超える」と、申しますが、毎朝10分・5日間を1単位とする朝学の授業展開と、土曜日授業も先駆的取組みとして導入されていきました。そのおかげで、生徒たちは、今までと同じ授業数でも7限目がなくなり、定時制の課程が始まるまで部活動の時間を確保することができるようになりました。さらに定時制の時間帯も、自習室の活用ができ、また校塾として講習も実施するように配慮されておりました。今年度からは、有料講習も実施する予定で、すでにたくさんのお生徒が申し込んでおります。そして授業では、グローバル・スタディ・コミュニケーションコースについては、大阪教育大、武庫川女子大、大阪女学院大、梅花女子大、大手前大と連携し、スピーキング能力向上を目的とする特別講義をしていただきます。グローバル・スタディ・サイエンスコースでは、JST（国立研究開発法人 科学

技術振興機構)の支援と、大阪科学技術センターからも講師に来ていただくなど、課題研究のさらなる充実に取り組んでまいります。また、80周年実行委員会でご支援いただきました、無線LAN環境などを活用した授業をスタートします。生徒たちもスマホを教室に持ち込み、先生の指導のもとでの授業活用を開始いたします。

2つ目は、地域との連携です。豊中市役所の隣という立地条件もあり、東日本大震災の復興支援として岩手県大槌町に生徒も一緒に参加できる機会を提供いただき、それが縁で大槌高校との桜協定を結ぶきっかけをいただきました。このことは、豊中市のご支援で、今も続いております。岡町・桜塚商店街や、豊中三校区の地域協議会とのご縁等で、多くの部活動が活躍できる環境を提供していただいています。

3つ目は、語学研修・国際交流の取り組みです。海外から1年間の留学生の受け入れ、豊中市の姉妹都市アメリカカリフォルニア州のサンマテオ市での語学研修、韓国忠南外国語学校との国際交流研修と、国際交流の会とよなか(TIFA)やよなか国際交流協会の絶大な協力で各国高校生等との交流・ホームステイも充実しています。本校生徒宅でホームステイの機会を増やし、さらにグローバルリーダーを目指す環境を整えていく予定でございます。

以上の取組等もあり、今年度の入学者選抜の本校志願倍率は、1.49倍で地域で一番になりました。

今後とも、地域からさらに信頼され期待される学校を目指し努力してまいりますので、一層のご理解とご支援をお願いいたします。

最後に尚和会様のますますのご発展を心より祈念してご挨拶とさせていただきます。

春のご挨拶



定時制の課程
准校長
門田 浩一

尚和会の皆様、平素は定時制の課程の教育活動にご理解とご協力を賜り、誠に有難うございます。桜塚高校定時制の課程で、三度目の春を迎えることになりました。准校長 門田でございます。昨年度は、創立八十周年記念事業において、尚和会の皆様にはさまざまな場面でご支援をいただきましたこと、この誌面をお借りしまして、お礼申し上げます。

私は創立記念事業の中では、特に記念式典のライブビューイング(豊中市立文化芸術センター大ホールでの式典を、テレビカメラを通して隣のアクア文化ホールに中継する)を担当いたしました。

この方式は、今から二十七年前、「ライブビューイング」という用語自体がまだなかった頃、豊中高校の創立七十年記念式典を開催するにあたって、当時豊中高校の教諭であった私が、芸術文化センターの前身である豊中市民会館で企画し成功させた式典開催方式でした。今から考えると冷や汗ものですが、同僚や先輩は「まあ、カドタくんが出来るというなら、大丈夫やろ」と簡単に計画にゴーサインを出してくれました。

二十七年前に成功した方式でしたので、方式そのものには自信はありました。事実、当日は大きなトラブルもなく無事アクア文化ホールに映像を流すことができました。しかし、入念な打ち合わせは行いましたが、実はなんと、会場の都合で当日まで二つの会場をつないだテストは出来ませんでした。

た。つまり、あの「ライブビューイング」は、簡単に言いますと、当日の「ぶつけ本番」だったのです。このことは、創立八十周年記念事業の裏話として、ご記憶いただければと思います。



定時制の課程の今年度の状況についてです。この三月一日には、四年生二十八名、定通併修の三年生六名、合わせて三十四名が、本校を卒業していきなりました。ここでは、その卒業式で起こった一つのサプライズをご紹介します。

卒業式が行われる数日前のこと。四年生が准校長室に相談にやってきました。「担任の先生に、式の中で寄せ書きをサプライズで渡したいのですが…」私は何よりも、事前に相談をしてくれたいことを褒めた後、教頭先生と相談し、当日司会を務める先生に、卒業式の台本にはないけれど、他の教員には黙って、こっそり担任の先生に色紙を渡す場面を設定するようにと指示をしました。

さて、卒業式当日です。卒業生の答辞も終わり、いよいよ四年生以外は、私を含め三人しか知らないサプライズが始まりました。「ここで、卒業生から担任の先生に、感謝の気持ちを込めて、寄せ書きを贈呈いたします。」担任の先生の驚きの顔。その顔を見て、私は隣に座る教頭先生と「しめしめ、サプライズがうまくいったぞ」と微笑んでいました。ところが…

「…さらに、卒業生からは准校長先生と教頭先生にも寄せ書きを贈呈いたします！」

種明かしをすれば、四年生は担任の先生に加えて、私と教頭先生にも寄せ書きを事前に準備しており、そのことは司会を務める先生にだけ教えていたのです。結局、私は担任の先生にうまくサプライズを仕込んだつもりで、実は自分もサプライズを仕込まれていてというわけです。卒業式のすべてを知っていたのは、四年生と司会の先生だけだったというお話です。



次に新入生の状況です。今年度は、三十八名の新生が入学しました。昨年度は五十一名が入学したため、今年度は少々さびしい気持ちもいたしましたが、この三十八名が順調に進級し、三年後、四年後に卒業を迎えられることを何よりも願っています。

毎年の会報に書いておりますが、私の理想とする学校は、生徒も教職員も学校での一日を終えて帰宅するとき、「今日も一日よく頑張ったなあ。明日も頑張ろう」と思える学校です。その初心を忘れないように、この二年間、私は出張のない日はできる限り、登校して来る生徒たちに「おはよう」と声をかけてまいりました。三年目を迎える今年も、通用門の坂道を上がってくる生徒に声をかけてまいります。小さなことですが、気持ちよく一日の始まりを迎えることが、生徒の励みにつながればと考えております。

どうぞ尚和会の皆様には、今後とも全日制と同様、定時制の課程にも変わらぬご支援、ご協力をお願いいたします。私の三度目のご挨拶とさせていただきます。

創立八十周年記念式典を終えて

大阪府立桜塚高等学校
事務部長 住友敏弘

平成二十九年十一月二十四日に豊中市立文化芸術センターで挙行された記念式典及び祝賀会は、成功裡のうちに終えることができました。これもひとえに尚和会様、PTA様、定時制振興会様、桜塚会様のご支援、ご協力の賜物であり、改めてお礼申し上げます。

学校事務2年目とは言え、高校や教育関係の経験がない私にとって、高校の記念式典や祝賀会の準備は、雲をつかむような話でした。

しかし、中田校長をはじめとする先生方が懸命に取り組む姿を目の当たりにして、自らも奮起しました。

実行委員会では、大島委員長をはじめとする委員の皆様が、少しでも良いものになりたい、伝統に恥じないものになりたいと真剣に議論され、会を重ねるごとに式典は形あるものになっていきました。



大島実行委員長 中田校長

中田校長の人的ネットワークで来賓も広がりを見せ、会場や全体の



進行に対するきめ細やかな配慮もあって、日々内容が充実していくのを感じました。

ただ、式典が近づくにつれ、大切な準備を忘れていたのではないかと、私の不安は高まりました。私でさえこのような状態ですから、校長や准校長、両教頭のプレッシャーは相当なものであったに違いありません。

当日は、私だけが心配した(?)天候にも恵まれ、走り回る一日を過ごすことになりました。

それでは、式典と祝賀会の様子を簡単に紹介します。因みに会場の日程は、加藤前校長が開催一年前の十一月の抽選会に出かけ、気合で引き当てたものです。

式典は、大ホールをメイン会場とし、大ホールに収容しきれない一年生は隣接するアクア文化ホールでライブビューイングの形で参加しました。大ホールからアクア文化ホールへの中継は滋慶学園グループ放送芸術学院専門学校のご支援・ご協力で実現しました。会場の都合で前日の中継確認ができなかったため、リハーサルができな



かったという不安を抱えたまま当日を迎えました。調整に奔走した門田准校長の心境は察するに余りあります。

午後一時、田名瀬教諭の司会でスタート。アクア文化ホールへの中継も、問題はありませんでした。開式に先立ち、これまでにお亡くなりになった方々の冥福を祈り、黙祷が捧げられました。映像とナレーションで本校の歩みを振り返る「桜塚ヒストリア」(編集は桑田首席、ナレーターは大西教諭)は、尚和会の皆様には懐かしく、在校生には興味深いものとして、ご覧いただけたのではないのでしょうか。とても好評だったと伺っています。

第一部は、主催者挨拶や来賓の方々からのお祝いが中心でした。全日制生徒代表に続いて、定時制生徒代表が原稿を持たずに述べた「慶びのことば」は、全ての来場者の心を打つものでした。また、全日制と定時制の生徒・教員が協力して作り上げた「モザイクアート」を生徒たちが披露する場面では、張り詰めた空気の会場に笑顔もたりました。

第二部の司会は、自治会の生徒。五



定時制空手部

十七年間続いた懐かしい制服の紹介で開始。軽音楽部や卒業生で構成されたフォークソング研究会、箏曲部の演奏。そしてダンス部、定時制空手道部のパフォーマンス。どれも見応えのあるものばかりでした。演奏の合間には、活動中のクラブを各三十秒のビデオで紹介しました。そして各界でご活躍の卒業生が登場。トップは上方落語協会副会長の桂春之輔さんによる高校時代のお話。続いて、ピアニストの泊真美子さんと医師の金澤旭宣さんのビデオメッセージ。皆さんの熱い思い



フォークソング研究会 卒業生の演奏

は、生徒の心に深く刻み込まれたことでしょう。平成二十四年度に本校と「さくら協定」を締結した岩手県立大植高等学校の生徒による祝辞には、絆の大切さを改めて感じました。そして、式次第に載せずサプライズで紹介した俳優の桐谷健太さんのビデオメッセージ。会場は歓声に包まれました。吹奏楽部の華麗なる演奏、校歌斉唱で幕となりました。

来場された来賓の皆様には、記念誌(小林教諭を中心に作成)と生徒デザイン(小林教諭を中心に作成)と生徒デザイン(小林教諭を中心に作成)の記念マフラータオルを、八十周年記念オリジナルバッグに入れてお渡ししました。



祝賀会の司会は高全三十六期の安井裕子さん。来賓の方々の挨拶が中心でしたが、お酒も入っているせいか、式典第一部のような堅苦しいものではなく、笑いも随所に見られました。長瀬元校長がに携わった関係者は皆、疲れが吹き飛んだのではないのでしょうか。

本校は、八十周年記念事業の最後にご寄贈いただいた無線LAN環境をいかして、生徒たちのICT活用能力をより高めたいと考えています。そして、これまでも増して、全日制と定時制の連携を密にし、併設校の長所をより一層伸ばしてまいります。引き続き尚和会様のご支援をよろしくお願ひ申しあげます。

この創立八十周年という記念すべき年に職員の一員として参加できたこと、尚和会会報に寄稿するという榮譽にあずかったことを誇りに思います。そして本校の輝かしい伝統が、九十周年、百周年、二百周年と永遠に続くことを願います。

学校だより(全日制)

祝70期生卒業

学年主任 桑田 誠

70期生のみなさん、卒業おめでとうございます。この学年は校内的にカリキュラムを変更したこと、そしてなにより「グローバルスタディーコース」を設置した1年目の学年ということで、内外から注目されてきました。

1年では、初めて勉強合宿(Sakura Study Camp)を実施し、学習やクラス交流を深めました。体育祭、文化祭では先輩方に引継がられ、何とかこなしていき、「桜塚生」になってきました。合唱コンクールでは出席停止者も多く出る中、アクア文化ホールできれいなハーモニーを聞かせてくれました。

2年では、遠足、体育祭、文化祭でクラスの団結が高まりました。せっかく文化祭で修学旅行委員が調べてポスターをつくってくれた行き先が、先方の政情不安により変更になって申し訳なかったです。しかし、台湾での修学旅行は桜塚史上最高に盛り上がったものになったのでは?と思います。

3年になり、行事では何といても体育祭。緑地練習の縮小や、受験が気になりだした頃でしたが、1・2年生をうまくまとめ、これまた桜塚史上最高の完成度だったのではないのでしょうか。勝っても涙、負けても涙の光景が今も忘れられません。

このような行事がうまくいったのは、教員側だけでなく、生徒自治会のメンバーの活躍がかなりあったからだと思います。

どうもありがとうございます。

そんな70期生ですが、受験だけは非常に残念でした。多くの大学が昨年より合格者を少なく出したことにより、多くの浪人生や第一志望でない大学に行くことになった人が多く出ました。しかし、みなさんなら困難な状況を打開できる力がきつとあると信じています。また、近況を知らせに来てくださいます。待っています。

クラブだより

剣道部

部長 小畑 宙夢

剣道部主将の小畑です！

日々の練習では基本と礼儀を心がけて練習に励んでいます。最近では体力を向上させるために厳しい練習をしています。昨年に行われた、昇段審査では初段、2段を受けた1年生のどちらも合格することができて大変嬉しく思います。ただ部員数が少ないため新1年生に剣道の楽しさを知ってもらいたくさんの方に入学してもらえたらなと思います。

柔道部

部長 水口 裕稀

私たち柔道部は毎週月曜から土曜まで活動しています。部員は3年生1人、2年生1人。少人数ではありますが、毎日切磋琢磨して練習に励んでいます。土曜日や長期休業中には北野高校と練習をすることもあります。また、今年から、外部指導者の先生に来てもらって教わっています。その甲斐あって部員全員が黒帯をすることができました。今後は部員数を増やし、さらなる高みを目指して精進していくつもりです。

水泳部

部長 則光 慶吾

現在の水泳部は合計30〜40名程度で活動しています。夏休みには近所のホテルに宿泊し、学校のプールで合宿を行います。昨年10月には、男子4000mリレーで「新人戦近畿大会」に出場することができました。また昨年はOB会からご支援をいただき、「部室のスノコ」「クーラーボックス」「ウォータージャグ」等を新しく買い揃えることができました。これからも頑張りますので、今後も応援をよろしくお願ひします。

体操部

部長 中南 彩夏

私たち体操部は現在5人で活動しています。少ない人数ですがこの部活にも負けないくらい仲が良く、笑い絶えません。

そんな私たちがいつも大事にしていることは「挑戦」です。初めて技をする時、失敗して怖くなってしまった技をする時など、体操にはたくさんさんの挑戦があります。果敢に挑戦し、技ができた時の嬉しさは部員全員の嬉しさでもあり、新しい技に挑戦する原動力にもなっています。さらなる成長を目指して、体操部はこれからも挑戦していきます。

卓球部

部長 川端 萌嗣

私たち卓球部は、新3年生4人と新2年生4人の計8人で日々活動しております。私たちのクラブでは先輩後輩関係なく、仲良くやっています。練習は、月曜日から土曜日の活動です。お互いに教えあひながら、日々努力しています。

硬式テニス部

硬式テニス部マネージャー 辻 優奈

勝利を目指して 硬式テニス部は日々お互いを刺激しあつて練習しています。1人での練習が難しい競技ということもあり、部員同士でアドバイスをしあつて、男女そろつて大阪府本戦出場・入賞を目指しています。1、2月に行われた2つの試合では、どちらも見事入賞することができ、試合に出場していない他の部員も後に続くことができるよう71、72期共に努力しています。

休日には、他校との練習試合を頻繁に行うことで実践的な練習ができることに加え、合同練習などで交流することと日々成長していきます。

ソフトテニス部

部長 辻 希未

ソフトテニス部は1年生2年生仲良く、近畿大会出場を目標として日々練習に励んでいます。声を出して練習の雰囲気盛り上げて、楽しくかつ本番の試合に近いような緊張感を持つよう心がけています。また、コートが4面もあり、練習時間も多く確保できて指導してくださる先生もいらつしやるので、この環境に感謝しながら目標を達成できるように努力し続けたいと思います。

男子バスケットボール部

顧問 小林 宏実

部員17名、マネージャー5名で活動しています。「感謝」を部訓に周りから応援されるような部活動を目指して日々練習しています。体育館を使用できる時間が限られているので、朝練を7時から行うなど工夫して練習に取り組んでいます。冬にあった新人戦では1回戦は勝利したものの、2回戦で敗退してしまいました。1つでも多く試合に勝てるよう、また見る人に力を与

えられるような試合ができるよう頑張りたいと思います。

女子バスケットボール部

マネージャー 北中 葵

女子バスケットボール部は、平日の活動はもちろん、休日には他校と練習試合をさせてもらうなど、顧問の先生や西先生の指導のもと、日々練習を重ねています。

私たちは練習の前に円陣になり、自分たちで考えたスローガンを声に出します。その中に「笑顔満開」という言葉があります。試合で勝つた時、できなかったことができるようになった時、自然とみんなの顔に笑顔があふれます。その瞬間のためなら辛い練習も乗り越えていきます。春の大会も自分たちの目標に向かって「笑顔満開」でがんばっていきます！

バドミントン部

部長 村上 陽

私たちバドミントン部は3年生29人、2年生12人で活動しています。指導者がいないため、練習メニューは自分たちで考えています。小・中学校からの経験者と高校から始めた初心者がいるので、実力はバラバラですが、皆で教え合つて頑張っています。夏休みには合宿があり、練習以外にもレクリエーションがあつて、部員の仲はとても深まりました。部員数も多く、練習時間は限られていますが、その分活動時間はみんなが集中して頑張っています。

男子バレーボール部

71期 主将 谷脇 遼

男子バレーボール部は、現在新3年生7人・新2年生9人・新2年マネージャー12人の計18人で活動しています。

最近では、バレーボールの漫画やアニメなどが始まり、全日本の方々のご活躍などでバレーボールを始める方が増

えてきています。桜塚高校も高校から始める人が大半なのですが、顧問の先生やOBの方々も教えてくださり、特にOBの方々には毎週のように来てくださり、アドバイスや指導をしていただきありがとうございます。そんな良い環境・雰囲気の中で活動しています。

女子バレーボール部

副キャプテン 森田実紗子

私たち女子バレーボール部は現在2年生10人、1年生11人の合計21人で部別2部昇格やコンフェデレーション杯の3連覇を目指して活動しています。桜塚高校は部活の活動時間が短いですが、だからこそ1分1秒を大切に全力で練習に取り組み、工夫して効率の良い練習をすることを心がけています。また、チームの長所である元気の良さをプレーにも活かし、良い雰囲気バレーをすることで、課題である精神面の強化もしていきたいです。

男子ハンドボール部

顧問 桑田 誠

70期生21人が卒業しました。この学年は入学当初から入部者が多く、また中学からの経験者も多く入つてきたので、他校同学年と練習試合をすれば圧倒しました。

そんな彼らも2年の秋から大きな挫折を経験し、またその頃から2人のコーチが指導をしてくれるようになり、再び強いチームを作っていました。そして、3年春の大会では男子ハンドボール部が再開して初めて大阪中央大会に進出することができました。この経験を自信にして今後いろいろな方

面で活躍してくれればと思います。

女子ハンドボール部

顧問 桑田 誠

70期生7人が卒業しました。近年は1学年で1チームができるかどうか、ぐらいいの入り部者しかいませんが、その中でこの学年も頑張っていました。大きな怪我をした生徒が出てしまいましたが、2年の夏の大会では大阪8位になりました。合宿も近年は神鍋で近隣の多くの学校との合同合宿の中、力と団結を強めていくことができました。

ラグビー部

主将 渡部 要太

僕たちラグビー部は、部員数が少なく、定時制もあるため、練習時間は限られてきますが、顧問である南先生をはじめ、ラグビー部のOBの方々のご指導もあり、日々内容の濃い練習をしています。また余った時間を使って部員が各自で自主練習を行ったり、様々な大会や、今年は近畿公立高校大会に参加し、経験を積んで、徐々に部員は個々の実力を身につけてきています。今年こそは全国大会の予選リーグを突破できるように、これからも練習に励んでいきますので、応援よろしくお願ひします。

陸上部

部長 湯田 優介

陸上部、部長の湯田優介です。現在陸上部は月曜日から土曜日まで一生懸命練習に取り組んでいます。現在はインターハイ予選突破などの目標に向かって日々努力しています。先輩・後輩の仲も良く、しっかりと声を出して練習しているため、部活の雰囲気もとても良いです。また、勉強との両立もしっかりこなし、メリハリのある部活です。部活で学んだことを活かして日常生活から頑張っています。

ESS部

顧問 Yee 美絵

毎週火曜日、L.L教室にてアメリカ人の先生とゲームや楽しい話題を通じて英会話を使ったり、学んだりしています。身につけた英会話力は、校内で行われるミニコンサートで英語の歌として披露されたり、校内外の英語スピーチコンテストに参加したり、国際交流で桜塚高校を訪れる外国人への歓迎イベントなどで活かされています。昨年度は近くの小学校の国際交流のお手伝いにも挑戦しました。水曜日にも部活動をし、活動内容もどんどん拡大中です。英会話や国際交流に興味のある人の入部を待っています！

イラストレーション部

顧問 久保 典子

イラスト部は先輩から後輩に教えたりするのはなく、皆で集まって、自分の技術を磨いたり、好きなアニメや漫画や小説について語ったりしているクラブです。現在2年生がいらないため、3年生だけで活動しているため、週1回の活動です。活動内容は会誌の発行のほか、文化祭のプログラム作成や遅刻防止強化習慣のポスターの依頼を受けたりしています。新しい風が吹き込んでくれたらなと思います。

音楽部

顧問 佐藤 洋子

音楽部は、文化祭や部内発表、地域での演奏など目標に、週3日、和氣藹々とギターの弾き語りを中心に活動しています。昨年の12月には、豊中市青少年の家「いぶき」よりお声かけいただき、ささやかですが演奏を披露しました。

少人数のクラブですが、これからも発表の場を増やせるようにと、部員一同練習に励んでいます。

科学部

部長 吉川 喜基

私達科学部は、日々色々な活動を行っています。特に、小麦の研究は播種、栽培、脱穀を部活動内で部員同士が協力し合い行っているため、科学部の一大研究となっています。

また、個人や数人がチームを組んで取り組む個人研究では、それぞれが興味を持っていることを普段使えないような設備で研究することができ、また、幅広い研究が行われています。また、科学に興味を持ってもらうため、地域のイベントやお祭りなどに参加させて頂き、楽しく科学に取り組んでもらうなど様々な活動を行っており、やりがいがありとても楽しい部活です。

家庭科部

顧問 池田 彰子

家庭科部は今年度、3年生3名と2年生1名で活動してきました。少人数で和気あいあいと、お菓子を作ったり手芸をしたり、楽しい時間を過ごしてきましたが、この3月で3年生は卒業し、部員は2年生だけになります。2年生は卒業祝いとしてポーチを手作りし、1月の終わりに色紙とともに3年生にプレゼントしました。次に入学してくる1年生の入部を期待しつつ、現在はアクセサリーなどの小物づくりを楽しんでいます。

軽音楽部

顧問 久谷 秀明

昨年は創立80周年イメージソング「さくらの足あと」を11月に行われた記念式典にて披露しました。「さくらの足あと」は69期生が作詞作曲した曲で、式典では71期生が中心となって演奏しました。オリジナル音源をYouTubeにアップしていますので、是非聴いてみてください。現在、6年連続で出場している6月の全国大会出

場・最優秀賞受賞を目指して頑張っています。これからも引き続き応援よろしくお願ひいたします。

茶道部

顧問 平井 薫

茶道部では毎年春の観桜会において中庭で野点をする際に、大きな傘を使用しています。この傘は前の講師でいらつしゃった長谷川宗風先生が昭和四十年頃に私費で購入されたものです。野点の傘は豊臣秀吉が主催した北野大茶の湯において使用したものが由来となっていて、費用がかかるためなかなか修理にこれを作った京都の日吉屋さんに一度修理をお願いしたことがありました。この傘を見てご主人は、日吉屋の先代が作ったものだど気が付かれ、これも何かの縁と修理代で新しく作ってくださるようになったのです。長谷川先生と茶道部OBが京都までお礼に行かれたそうです。

その時新調した傘も再びぼろぼろになり、この数年どうしようか頭を悩ませていました。もう和傘を諦め、海外製の安く少し小さいものをカタログで購入しようということになり、現在の講師の山本宗思先生が、処分するものたいへんなので日吉屋さんに引き取ってもらえないか京都に相談に行かれました。日吉屋さんはさらに代替わりしていましたが、この話を聞き、写真を

てくださっている先生方、桜塚の歴代の部員の思いを繋いでいきたいと思っています。

写真部

部長 2年3組 中川 僚

私達写真部は、毎週水曜日、南館4階社会科教室で活動しています。部員数は、現在私を含めても僅か3人しかいません。その為普段の活動内容は、個人で好きな時に好きなモノを撮影することが中心となっています。また、長期休み期間中には、部員と顧問の先生とで屋外撮影会に出かけます。それらの作品は、文化祭で展示・販売したり、時折校内展示を行ったりしています。とても小規模クラブですので今後の存続のためにも、緊急かつ早急に新入部員を募集しています！他クラブとの掛け持ちもOK！お手持ちのスマホ等での撮影もOK！皆さんの入部を心よりお待ちしております。

書道部

部長 2年 宮崎 唯

私たち書道部は4人という少ない人数ですが、みんなクラブ以外でも仲が良く楽しく活動しています。夏休みにも何度か集まり、自分の納得いく作品が出来るまで先生にもたくさん教えてもらい日々精進してきました。

そのおかげで近畿の芸文祭の展覧会に入賞することができました。展覧会では、他校との交流も深め、書くだけでなく他校の作品も見ることができ、書道について一層することができ、とても良い経験になりました。

吹奏楽部

マネージャー 志田原あゆみ

私たちは桜塚高校吹奏楽部、通称「桜吹(さくらすい)」です！

1・2年生あわせて36名で活動しています。吹奏楽部としては少なめの人数ですが、昨年の全日本吹奏楽コンクール小編成の部では北摂地区大会で優秀賞を頂きました。

コンクール以外にも学校行事や地域の演奏会、昨年は近隣の高校との合同練習や合同演奏を行いました。

そして5月4日18時よりアクア文化ホールで定期演奏会を行います。来て下さる方々が幸せな気持ちになれるような演奏会にするため、桜吹全員でひとつの目標を掲げて毎日練習しています。お時間のある方はぜひお越しください！

箏曲部

部長 箕嶋 優希

こんにちは。箏曲部部长箕嶋優希です。

現在箏曲部は、しだれ桜鑑賞会や文化祭の校内行事だけでなく、地域の文化祭や行事でも演奏の機会をいただいています。幅広い年代の方々に楽しんでもらえるように、古典的な曲だけでなく誰もが知っている現代曲にも挑戦しています。昨年の創立八十周年式典では一年生から三年生まで十三名の全部員で演奏できたことを嬉しく思います。これからも伝統を受け継ぎ、楽しく活動していききたいと思えます。

ダンス部

こんにちは。ダンス部です。

私たちは、71期30人、72期34人で「心で踊って 心の伝わるダンス」をモットーに日々活動しています。

71期は去年の夏、2020年に行われる東京オリンピックをテーマとした作品で全国大会に出場させていただきました。

曲や振り付け・衣装など、全てにこだわり、30人全員で作りに上げた作品です。時にはぶつかり合うこともあります。

したが、それを通してみんなで成長し絆を深めることができました。これからも支えてくださっている周りの方々に感謝しながら、桜塚らしいダンスを踊り続けます。

平成30年度主な行事

校内理事 桑田 誠

在校生の元気な姿を見に来て頂戴く思います。

【全日制】

- 5月28日～6月 8日 教育実習期間
- 6月6日(水) 体育祭(予備日は7日、8日、11日)
- 7月20日(金) 終業式
- 8月20日(月) 3年授業開始
- 9月9日(日) 文化祭
- 8月25日(土) 学校説明会
- 10月20日(土) 学校説明会
- 11月17日(土) 学校説明会
- 11月5日～10日 2年修学旅行(ベトナム)
- 12月20日(木) 1年合唱コンクール
- 12月21日(金) 終業式
- 2月28日(木) 卒業式
- 3月20日(水) 終業式

全日制教職員人事異動平成29年度

●退職

- 理科 保健体育
- 保健体育
- 英語 保健体育
- 養護教諭
- 転任
- 校長

- 国語
- 社会
- 社会
- 数学
- 数学
- 保健体育

WEB版非公開

- 養護助教諭
- 主査
- 着任
- 校長

- 国語
- 社会
- 数学
- 数学
- 理科
- 保健体育
- 英語
- 英語
- 英語
- 養護教諭
- 主査
- 副主査

全日制教職員人事異動平成30年度

●退職

- 社会
- 社会
- 数学
- 英語
- 美術
- 転任
- 教頭

- 数学
- 理科
- 保健体育
- 英語
- 情報
- 英語
- 着任

WEB版非公開

WEB版非公開

- 教頭
- 社会
- 数学
- 数学
- 理科
- 美術
- 保健体育
- 英語
- 英語
- 英語
- 情報
- 社会

WEB版非公開

平成29年度	主な4年生大学への進路状況	現役生70期	浪人生
金沢大		1	1
三重大		1	
大阪教育大		1	
神戸大			1
和歌山大			1
広島大(Ⅱ)			1
鳥取大		1	
高知大			1
九州工業大			1
静岡県立大		2	
大阪市立大		2	
神戸市外語大		1	
関西大		73	5
関西学院大		22	14
同志社大		18	7
立命館大		16	3
甲南大		25	1
龍谷大		15	10
京都産業大		6	4
近畿大		106	25

学校だより(定時制)

68期生のみなさんへ

学年主任 島内 健

68期生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。思い返せばあつというまの4年間でしたね。1年生の頃はほんの生徒が静かで大人しく、どの生徒もあどけなさが残っていたのに、4年生になると全員がとてたくましくなっていて、色々な意味で立派になりましたね。この学年の明るさ、たくましさ、人を思いやる気持ち・行動、真面目さなどはとても印象的でした。それは皆さんがこの4年間、この夜校で辛い事や楽しい事など様々な経験をして、自分の力によって得たものです。

さらに、私達の厳しい指導にも耐え、本当によく頑張ったという気持ちでくれましたね。本当に素晴らしい生徒達でした。先生は口では「おまえら、ほんまへなちよこやなあ」などとよく言っていました。本当はとて誇りに思っていましたよ。

さて、これから皆さんはそれぞれ違う社会に進むこととなります。就職、専門学校、大学など人によって違うでしょう。どの社会に進んだとしても大切な能力が3つあります。皆さんが1年生の頃から先生が言ってきたこの3つを覚えていきますか？夜校では社会に出るための大切な能力を学びましたよね？

- ①コミュニケーション能力
- ②情報活用能力
- ③意思決定能力

ここで改めて詳しく説明しませんが、要するに、自己とともに他者も理解し、社会にあふれ出ている様々な情報を的確に取捨選択し、自分にとって良い選択を自分の意思と責任で決定し、自らの課題に取り組みでいけるようになる

事です。これはとても広くて深い内容で、大人でもなかなか難しい事ですが、皆さんなら少しづつでも出来るはずですよ。社会に出れば今以上に不平・不満が出てきます。しかし、夜校で得た経験を活かしてこれらの困難に打ち勝ってください。いつの日か、さらにもう一回り成長した皆さんにお会いできる事を願っております。今までありがとうございます！

全国高校生フラワーデザインコンテストで文部科学大臣賞を受賞

准校長 門田 浩一

昨年十月一日に横浜で開催された、第十三回NFD全国高校生フラワーデザインコンテストにおいて、本校 定時制の課程の白川滯邦さんが出品した作品が、第一位であるNFD金賞・文部科学大臣賞を受賞しました。



白川さんが出品した作品名は、「野趣」。

秋の自然をイメージし、赤色が映える彼岸花を美しく見せることで、昔の日本の風景を連想させるような雰囲気のある作品に仕上げたということです。

浅利豊中市

長や向井大阪府教育長にも、受賞報告の表敬訪問をしました。また、広報「よなか」V.01.816



平成30年4月号の「夢・きらめき・豊中っ子」にも見開きで紹介されておりますので、豊中市にお住いの方はぜひご覧ください。

クラブだより

少人数の中、各クラブとも部員確保に苦労しながらも日々頑張っており、素晴らしい成果も上げています。

野球部

顧問 大辻

部員は2・3名と非常に少ないですが、野球好きの集まりで教員も混じって楽しく定期的に活動しています。平成30年度は部員を増やして大会出場を目指します。

サッカー部

顧問 上野

部員は少ないですがサッカー上手な先生達と一緒に楽しく活動しています。卒業生もよく練習に遊びに来てくれています。

今年度は秋のフットサル大会に出場し、優勝校相手に引き分けるなど健闘しました。来年は必ず優勝するぞと意気込んで新キャプテンを中心に日々頑張っています。



バレーボール部

顧問 大矢

平成29年度のバレーボール部は全国大会や近畿大会など多くの大会に出場しました。予選で敗退しましたが、最後まで健闘しました。来年度も練習を重ね、多くの大会に出場したいと思えます。



バスケットボール部

顧問 天満

それぞれのペースで楽しく活動しています。部員が少ないために、試合では交代なしで大変ですが、最後までよく頑張りました。



バドミントン部

顧問 土井

入学前からのバドミントン経験者は一人で、それ以外はみんな「ド素人」ですが、年間を通して地道な活動を重ね、みんなたいへん上手になりました。本校が年3回の公式戦の会場となっていることもあり、試合に出るだけではなく、会場のスタッフとしても貴重な経験を積んでいます。この春に3名が卒業して少し寂しくなりましたが、残った部員達は春休み中も毎日の



ように登校し、にぎやかに活動しています。

陸上部

顧問 沼野

陸上部は設立して10年と歴史は浅いですが、毎年、近畿大会・全国大会の出場権を獲得するなど勢力的に活動しています。グラウンドを使つての練習は週2回ですが、使えない日はウエイトトレーニングなど行っています。来年度も生徒・顧問一同がんばっていきま

ワンダーフォーゲル部

顧問 坂本

今年度、ワンダーフォーゲル部は、春に摩耶山・秋に妙見山へ、卒業生と一緒に登山に行きました。現役生・卒業生関係なく、



空手道部

顧問 島内

みんなでしゃべりながら、自然を全身で感じながら、登りました。次回の活動は、5月6月ごろに、六甲山を登る予定をしています。



昨年度は、今年度の卒業生が80周年記念で演武をした武をしたり、豊中市の大会で優勝したりとかなりの実績を残しましたが、今年度は初心者だけの部員になります。初心者の生徒もこつこつと頑張つて稽古に励んでいます。これからが楽しみです。

柔道部

顧問 北川

現在部員は男子5名、女子1名、マネージャー2名で、月・金で活動しております。夏季休業中は、吹田市、高槻市、茨木市の柔道連盟の各教室へ出稽古を実施。



美術漫画研究部

顧問 山田 彩

1年生の入部者が多く、大変にぎやかな部になりました。週に2回活動しています。また、文化祭で出展したり、学校案内の表紙を飾る等の活動もしました。

演劇部

顧問 細川

演劇部は人数が少ないながらも、年に数回の公演の機会を採りつつ活動を頑張っています。春や夏に行われる他校との合同講習会に参加したり、夏休みや放課後を使つての練習を行ったりしています。文化祭等で自分たちの演劇を発表できるように、頑張ります。

家庭科部

顧問 仲尾

おはぎ、マドレーヌ、ガトーショコラなどのお菓子や、コブサラダ、えびたま丼などのご飯もの、卒業生を講師に招いて本格パンなど、楽しんで作っています。



卓球部

顧問 秦

テニス部

顧問 乾

軽音部

顧問 西原

科学部

顧問 根岩

主な行事予定

- 四月九日(月) 入学式
- 五月十九日(土) 遠足
- 七月十日(火) ～ 七月十九日(木) 球技大会
- 十月十一日(木) ～ 十月十二日(金) 文化祭
- 一月十六日(水)・十八日(金)・二十三日(水) 送別行事
- 二月二十八日(木) 卒業式

定時制教職員人事異動平成29年度

●退職

- 社会 国語
- 兼任 数学 養護教諭 英語

●着任

- 副主査 社会 理科 国語 数学 養護教諭
- 副主査

定時制教職員人事異動平成30年度

●退職

- 国語 保健体育 ●兼任 教頭 府立西野 国語

WEB版非公開

WEB版非公開

WEB版非公開

進路状況

平成二十九年度卒業生合計三十四名 今年度の卒業生は、進路フェスタやハローワーク池田など、外部機関に積極的に向いて就職活動に励んできました。卒業生みんながそれぞれ頑張つて、進学、就職など良い結果となりました。

- 男子五名 女子一名
- 医療系会社、コンピューター系専門学校、建築系専門学校など
- 男子十四名 女子十四名
- 自動車製造系会社、飲食系会社、電気関係会社、清掃関係会社、建築系会社、介護系会社、製造系会社、病院、四年制大学、通信制大学、デザイン系専門学校、コンピューター系専門学校、自衛隊など



家族葬なら加納会館

- ・4～5名様からの家族葬も承ります
- ・控室完備、宿泊できます
- ・安置室完備、病院から直接会館にお越し頂けます
- ・葬儀後、法要などのアフターフォローも充実
- ・割引会員制度あり、入会金5,000円のみ(月掛金一切不要)

詳しくは、お問合せください

株式会社 加納 代表取締役 上村 学 (高全17期) 0120-096-940

豊中

葬祭式場 加納会館(本館) 中桜塚2-12-2 (豊中市役所筋向い 国道176号線沿)

家族葬の 加納会館ファミリエ 中桜塚5-15-3 (豊中市中桜塚5丁目交差点角)

箕面

葬祭式場 加納会館今宮 今宮3-2-13 (今宮交差点東へすぐ 国道171号線沿)

池田

家族葬ホールファミリエリビング池田 鉢塚3-11-19 (国道176号線環状園口東交差点を北へ200m)



緑あふれる 市の中の山居

HOTEL IVORY

ホテルアイボリー

〒560-0021 豊中市本町3-1-16 TEL:06-6849-1111 FAX:06-6849-7727 URL:http://www.hotel-ivory.co.jp



廣濟堂 データベース

学校経営を支援する 多彩なソリューションをご提供します。

印刷、IT、映像、イベント、人材等の幅広い事業リソースを活かし、学校案内や広報誌の制作をはじめ、HPや映像制作、eラーニング、学生のキャリア教育・就職支援、同窓会事務局の運営支援等、円滑な学校経営をサポートします。

まずはお気軽にお問い合わせください 株式会社廣濟堂

〒560-8567 大阪府豊中市蛸池西町2-2-1 TEL 06-6855-9241 http://www.kosaido.co.jp/



尚 和 会 通 信

新種？緑の桜で観桜会

「しだれ桜観賞会」が「桜のおもてなし」地域の皆様とともに「(仮称)として定例行事に

学校と尚和会共催による第6回「しだれ桜観賞会」は、平成30年4月7日(土)に行ないました。

今年には桜の開花が早く、母校自慢のしだれ桜や染井吉野は前日の雨で寂しくなりましたが、八重桜だけが頑張ってくれていました。

前日の準備もかなわず、

当日も曇り空と低温で来場者も低調でしたが、それでも約100名の皆様に新種の緑の桜?と高女ゆかりの庭園、そしてそれ以上の母校の誇りである桜っ子たちの元気な演奏やお点前を披露することができました。



桜の前で記念撮影されるご家族

既に恒例となりましたこの「しだれ桜観賞会」は、これまで単年度のスポット行事として繰り返して行なってきましたが、今年度から学校の年間行事予定に組み込まれ、来年度からは名称も「桜のおもてなし」地域の皆様とともに「(仮称)」として定例行事化されることになりました。来年度以降は、原則として4月の第一土曜日に行ないます。

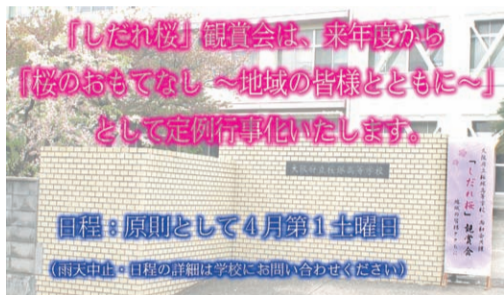
桜は気まぐれで、うまくこの時期に咲いてくれるかどうかは未知ですが、これからも地域の皆様と母校を志してくる未来の生徒さんたちに桜塚高校を紹介し続けてまいります。(崎阪)

第五回「しだれ桜」観賞会と記念植樹

今年も恒例の「しだれ桜」観賞会が、

学校・尚和会共催で、平成二十九年四月八日(土)に正門前や中庭にて開催されました。

今回はオープニング前に、創立八十周年を記念して、高全四期清水美範氏より寄贈されました、染井吉野「神代曙」の桜の苗木十本の植樹式中田新校長と共に挙行しました。苗木は恵風苑、恩露園を中心に記念プレートをつけて植樹いたしました。桜塚の名にふさわしい見事な桜が将来咲き誇ることでしょう。



観賞会は例年、中庭の恵風苑にて茶道部野点(お茶席)や箏曲部の演奏をしていましたが、今年度は少しの雨模様で、中庭の渡り廊下を使用し、下の軽音楽部演奏や、桜塚生徒による「おもてなし」と「しだれ桜の美」を多くの市民に楽しんでいただきました。(大島)

尚和会へ学校より感謝状授与

尚和会は七月二十日、永年の母校への教育環境の改善に貢献し支援したことに対し、歴代校長より中田裕省校長名で尚和会としては初めての感謝状を授与いたしました。

最新のICT機器の導入や空調設備等の整備に多大なる援助を、会員各位から賜った協力金でさせていただきました。同時に、大島会長に対しても同様の感謝状が授与されました。今後尚和会は、九十周年百周年に向け、母校の益々の隆盛発展に寄与すべく協力を惜しまない所存です。(中島)



校長室にて(右より)中田校長、大島会長、中島副会長

『若者』像が十年ぶりに修復される

十年前の創立七十周年記念事業の一つとして、長年倉庫に眠っていた製作者不明の若者像を、高全二十九期山澤健二氏(落語家・笑福亭仁勇)の作詞のプレートと台座を作り設置しました。十年の歳月が過ぎ、台座もプレートも劣化がひどくなり、今年の八十周年を機に記念事業として、台座は御影石張りに、プレートはステンレス製にリニューアルされました。

作者不明の若者像も、その後高全十五期生の卒業記念として寄贈されたことも判明し新たに銘板が作られました。若者像は従来通り生徒通用門奥の下足室入り口前に鎮座しています。(合掌) (大島)



大盛会の母校創立八十周年記念尚和会総会開催される



来賓挨拶 中田校長 大島会長挨拶

平成二十九年尚和会総会は、母校創立八十周年記念として、五月二十日(土)ヒルトン大阪会場に開催されました。

当日は晴天に恵まれ、来賓や竹村東京支部長(全日制十七期)をはじめ全国から会員が参集し、アトラクション出演者を含め三百四十名の多数のご参加をいただき、柴田 綾(全日制五十七期)さんの司会により大盛会の熱気の中で開催されました。

最初に、お世話になりました旧職員と、同じ学び舎で青春を過ごした同窓の物故者に対して出席者全員で黙祷を捧げました。

次に、大島会長は懐かしい高校時代の学生服姿で登壇し挨拶。続いて四月に就任された中田裕省新校長よりご祝辞を賜



来場者の皆様

受付



鏡割り

り、さらに尚和会が常に学校にいろいろな分野で協力している旨のお礼の言葉をいただき、現在、桜塚高校が常に府下でも人気の高校であること、さらに、より素晴らしい学校にしていきたい等のお話をして下さいました。

その後、各委員会の事業計画、二十八年度決算報告、二十九年年度予算報告、役員の紹介を大島会長よりいただき、質疑応答後、無事総会は終わり、後半のアトラクション、懇親会へと移行しました。

アトラクション第一部は、軽音楽部OBが各方面から集まって、軽音楽部担当顧問の久谷先生がまとめて下さり、軽音楽部が、かつて作詞作曲した「岡町商店街の歌」等数曲を楽しく演奏



軽音楽部OB演奏



旧職員

現職員



下園弘明&フレンズの演奏



手拍子で合唱

奏されました。
第二部は、「下園弘明&フレンズ」のグループによる演奏でフォークソンの



校歌斉唱



喜びの当選者

グ等を皆で懐かしい歌を思い出しながら一緒に大合唱、楽しいひと時を過ごさせていただきました。このグループは、硬式野球部OB会会長寺野啓一氏（全日制二十三期）が作詞した『今も白球と共に』のCDの作曲を、下園弘明氏が担当されたご縁でアトラクション出演を依頼した次第です。
下園氏は現在、フォークソンググループの火付け役となるべく、七十年代の名曲を忠実にカバーし、各地でライブ活動を積極的に展開しております。
引き続き懇親会が和やかに始まり、十年ぶりに再会した方は、毎年の総会ではお目にかかれない方とお会い出来、それぞれに久しぶりに旧交を温め

ながら、食事と会話を楽しんでいただきました。
お楽しみ抽選会の後、会場一杯に女学校時代の懐かしい校歌が流れ、その後、現校歌を大合唱、改めて桜塚高校の素晴らしさ、そして卒業生であることを誇りに思い、必ず十年後の九十年で再会いたしましょうと固く誓い、全員で記念撮影をして閉会いたしました。
最後に、三百四十名もの大勢の方々が集まって下さいましたのは、一年前より、各期の理事、評議員の方々が一人でも多く出席できますようにと取り組んで下さったお蔭と感謝しております。ここに紙面をお借りいたしましたしてお礼申し上げます。
さて、平成三十年度の総会は、本年五月二十日（日）例年通りホテル・アイボリーで開催いたします。
今年のアトラクションは落語で三十分ほど楽しんでいただきます。全日制三十三期の卒業生 森 隆久さんで、上方落語の桂 春團治一門で桂 蝶六より近年 桂 花團治を襲名されました。昨冬急逝された落語家笑福亭仁勇（山澤健二・全日制二十九期）さんは長年副会長をして下さいました。彼を偲びながらも、楽しく軽妙な落語を聞かせて頂けると思いますので、お友達をお誘い合わせの上、一人でも多くご参加下さいますようお願いいたします。
(南)



総合司会 柴田 綾(全日制57期)
記念事業委員長 南 正枝(全日制15期)

会員の皆さまから

会報の発行に当たって

尚和会会長 後藤保二
山澤前広報委員長の急逝により、新広報委員長への引き継ぎができません。まの発行になりました。そのため昨年中にいただいた原稿の一部は、今回の会報に掲載できませんでしたが、お詫びいたします。掲載を希望される場合は、改めて原稿を尚和会宛てにお送りください。来年発行の会報に掲載いたします。お手数をおかけしますがよろしくお願いいたします。

全日制19期同窓会

海老 一夫

卒業50年の節目を迎えた第19期生の同窓会が、2017年（平成29）11月12日、大阪の阪急うめだ本店「シャンデリア テーブル」で開かれた。数え年で「古希」の69人が参加。恩師は相沢昂先生だけで、柳沢千吉先生、松宮達也先生は所用のため欠席された。
校歌斉唱の後、幹事から近況報告があり、水田紀久先生、永広富延先生、



佐藤宏明先生の訃報に、再会を楽しみにしていた同窓生は驚きとともにがっかり。

しかし、山城彰さんが四代目桂春団治を襲名、小山(旧姓・葛島)光子さんが、フラワーデザイン功績が評価され「黄綬褒章」を受けられたという明るいニュースに、大きな拍手が贈られた。「現代の名工としてこのような章をいただき、皇居へも行ってきました」と小山さん。

続いて相沢先生が「19期生バンザイ」と、ユニークな乾杯の音頭。独唱あり、近況の披露など、二次会も兼ねた3時間半のロングラン同窓会となった。

今回の開催についてアンケートを取った結果「2・5年後」が採用され、2020年春(東京五輪開催の年)と決まった。

同窓会翌朝の11月13日、相沢先生が急逝された。84歳だった。会では教えずに囲まれ、にこやかに会話。記念品として贈られたネーム入りのパーカーボールペンを手に「名前は合っているよ」とうれしそうに話され、最後までお疲れのようすもなかった。数多くのお塚生を世に送られた相沢先生。その中で、われわれ19期生との再会を待っておられたかのような旅立ちだった。まさに「最後の笑顔の写真」は、ご遺族の元に届けられた。

全日制23期同期会報告

後藤 保二

平成29年3月5日、クリスタルホテル南千里にて全日制23期同期会を開催しました。

西山淳先生と辻内興彦先生のお二人を迎え、同期生51名が参加しました。23期は2年ごとに同期会を開催することにしており、今回は平成31年開催(日時・会場未定)を予定しています。



硬式野球部の近況

硬式野球部OB会

顧問 全日制23期 寺野啓一

何時も温かいご支援を賜り、誠に有難う御座います。

OB会の寺野(全日制23期)と申します。

昨年09月16日より専任コーチとして新名隆(全日制22期)氏を迎え、野球の技術力の向上は勿論、社会教育にも取り組んで頂いております。

ちなみに、新名氏は、桜塚高校の現役時代に凶抜けた活躍をされ、明治大学では、現役レギュラー部員として東京六大学野球優勝、日本生命では、現役部員及びコーチとして、幾度も都市対抗野球で優勝されています。更に、愛知県の豊田大谷高校ではコーチを3年間、岡山県の作陽高校では監督を6年間経験され、野球界では有名な方です。

また、昨年の02月の野球部創部70周年の記念式典が契機となり、OB達との連絡がとりやすくなり、寄附金も少しずつが増加しています。

グラウンドの使用頻度が少ない、練習時間が短い、練習試合が出来ない等、色々条件が悪い中で、現役諸君は頑張っています。

OB会も04月01日より新体制に成ります。私は、9年間OB会会長を務めさせて頂きましたが、全日制34期の田尻潤が会長になります。

今までに増して、ご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願いいたします。



在校生作 80周年記念イラスト

皆様の健康と美しさに奉仕する



処方箋調剤・医薬品・化粧品

本店 〒560-0021 豊中市本町1-12-3 (阪急豊中駅前) TEL(06)6852-3937 FAX(06)6846-5875
上野支店 〒560-0011 豊中市上野西2-19-5 (豊中高校正門前) TEL・FAX(06)6854-1683

全日制3期 村上松子

〈なにわ再発見〉

大阪の「2山」を踏破! ゴールは世界一周クルージング報告会!

山岳部OB会127回例会 2017年6月4日(日) 1山岳部OB会127回例会

〈快晴 気温26℃〉 参加者12人(孫1人) 全日制3期 高谷善雄

「はじめに」 大阪市内には日本一ノッポビルがあると同時に、日本一低い山があります。「天保山(海拔4・3メートルII港区)」は全国区ですが、

天保山よりは高いが「昭和山(しようわざん 同33メートルII大正区)」と、「鶴見新山(同39メートルII鶴見区)」という2つの山があります。OB会の本来の姿は「歩き(登りと下り)」にあるのですが、メンバーの高齢化にともない低山のワンダリングや名所旧跡訪問、タウンウォッチングなどに変化してきています。会の永續の選択としては賢明といえるでしょう。今回の企画も、まず登る(?) 機会の少ない2山に照準を合わせ、そのアプローチとして、これまた乗る機会のないような大都会大阪市内で忘れられた存在の私鉄と、大阪名物「渡船(とせん)」を利用して、そして「大阪マラソン」で一躍知名度をあげた「なみはや大橋」を歩いて渡るといふユニークな、

オーバーにいえば、脱日常生活の枠(?) が集まったプランです。

「二つ目の山II昭和山」ここへのアプローチは市営バスで乗りつけば簡単ですが、今回は前述の私鉄II南海電鉄「高野山汐見橋方面」という汐見橋駅I岸里玉出駅4・6キロ複線の汐見橋駅I津守駅間を乗車(この路線はかつての高野山詣でのメインルートだったのが、今は2両編成の電車へしか



当日のコース概略マップ



緑陰濃い昭和山ピークで 後列左端が故相澤昂先生(サングラス)

もワンマンカー)が30分間隔で走っている、今回参加メンバーはほとんどが初めてという誠に浮世離れた路線で、いつまでも健在であることを祈りつつ故相澤昂先生が校長として勤務された府立西成高校の正門前を通り、津守の住宅街を抜けて、1回目の渡船場「落合上(かみ)の渡し」に向かいます。大阪市内には現在8渡船場があり、元日以外無休で、しかも無料(無料は道路の延長と考えられているからです)で人と自転車を運んでいます。東京からきたメンバーの1人が驚いていました。渡船場付近の川にはボラの魚影がたくさん。大阪市内の川も最近きれいになってきたのでしょう。海拔ゼロメートルからの33メートルは老体メンバーにはなかなかのアルバイトです。ピークでは、植樹され成長した樹木の緑の濃さに驚きながら南に展けた眺望は、金剛山から和泉山脈、果ては友ヶ島まで望見できました。この昭和山は、昭和年代、大阪南港浚渫(しゅんせつ)で出てきた土砂で築いた人工の山です。

「二つ目の山II天保山(てんぼうざん) (1831(天保2)年・安治川浚渫の土砂で築いた)」昭和山のある

大正区から天保山のある港区の突端へは、大正区の内陸部へ一旦戻って港区へ入るしかルートがなかったのですが、「なみはや大橋」が架かったおかげで、ストリートに港区へ入ることが出来ます。市営の路線バスも運行されています。この急勾配の橋のサミットでの眺望は、予期とか期待していません。ただ、望外のプレゼントでした。大都會の視点の一方向性を教えてくれた気がします。また6月の青空とよくマッチした心地よい潮風は、歩いて渡る者にしか与えられないご褒美でした。ここで一句——六月を奇麗な風の吹くことよ 子規 どうですこのセンス!? 有名過ぎる天保山の二等三角点は指摘されないと分からないくらい地味な存在ですが、山は山です。当日2つ目の渡船「天保山渡船」は、前述の「落合上の渡し」に比べ、生活道路臭が薄いか、平日デイトムは30分間隔です（「落合上の渡し」は終日15分間隔でした——それだけ西成区と大正区の住民の足となっているのです）。この天保山渡しの特色は、朝夕、USJへ通う外国人の多いことです。対岸のUSJのある此花区桜島周辺は住宅街がなく、一方港区側は住宅街が密集しているという事情があるからでしょう。安治川を往き来する船がつくる波に揺れながら、やや広い川を渡る船からは、天保山名物の海遊館や大観覧車が折からの西日を浴びて、これまた別の都会美が見られます。メンバーの誰一人として桜島へ上陸した者はいないでしょう

(渡船好きの筆者は経験済み／大型客船が天保山栈橋に横付けになった時など、対岸の桜島から眺めるのがプロの視点?)。



天保山渡し、桜島からの眺め



世界一周クルージング報告会 右端が故相澤昂先生

「世界一周クルージング報告会」当日

会場となる福島の「おでん屋」さん（これは同店ご最良のご夫妻がご指定）。開店前から行列のできる超有名な店ですが、一部屋貸切りの予約をしていきましたので行列をしていない皆さんを尻目に店内へ。この辺の仕切り上手の腕前はOB会の伝統(?)。その前に桜島の渡船場からJR桜島駅へ歩いたのですが、当日朝一番、レトロな鉄路を味わったついでに、大阪市内では珍しいJRの終着駅（つまりドン詰まり）をとくご覧うじると、鉄ちゃんを自称する筆者の解説をひとくさり。私鉄ならとも角、大阪市内のJRの主要駅はほとんどが通過駅なので、桜島駅のようなドン詰まり駅は珍しいのです（JR難波駅が地下のドン詰まりになっていきます）。



“六月を奇麗な風の吹くことよ” なみはや大橋サミットで

2つの渡船と2つの山を踏破しての当日のゴール地点は、川島正好・淑子ご夫妻の「世界一周クルージング報告会」の

「終わりに」 山歩き変じて町歩き：なんて皮肉はひとまず脇に置いておいて、どんな形にしろ『集まる』という現象は、その絆が強ければ強いほど、永続し、中味の濃いものになるといわれています。1967（昭和42）年6月に始まったこのOB会が、半世紀以上継続しているという現状は、当事者としてその感を強くしています。その間に物故された先生方やメンバーを悼みつつ、人生の歩みのひとつとして、このような絆の強いユニークな集まりを経験できる喜びに、感謝をせざるを得ません。

追記・この127回の集まりに参加された相澤昂先生が2017（平成29）年11月13日、逝去されました。この集まりが残念ながら最後となりました。享年84。 合掌

日の掉尾を飾る報告会は、企画側が「研修会」と予告していたのを裏付けるかの如く、ご夫妻は10ページにわたるカラー写真付きのレジュメと、パワーポイントを用意されていて、約30分世界の情報をお知らせくださいました。特にオプシヨンの最たる「南極上陸」は、ビールの手伝いもあつてか、いささか興奮しました。プロたちの集団の南極調査隊なり越冬隊しか足を踏み入れることができない領域に、世界一周クルージングの途中、寄道という形で大陸に足跡を残せるなんて……興奮しますよ。報告会終了後のおでんとビールは、当日のさわやかな『なにわ再発見』というサプライズを甘受してひととき美味い麦酒でした。※川島ご夫妻の世界一周は、2016年12月10日 神戸港発104日間にわたるクルージングでした。



世界一周クルージング・レジュメ

船旅（南半球世界一周104日） 全日制11期 川島（水野）淑子

桜塚を卒業したのはついこの間・と思っていたけれど、11期生だから60年も前になる、人生などあつと言う間！

平成28年の1月、世間の風潮に合わせたかのように後継ぎ問題に直面し、32年間頑張ってきた自営業を閉じた。夫婦とも75才、お陰でたつぷりの自由時間を手に入れる事が出来た。見つけたのは南半球まわりで南極にも行く。地球一周の船旅104日」というもの、これ!! すぐに予約せんとあかん!! 12月出発の予約を即申し込む。

体力・気力のあるうちに時間がかかっていけなかった所を制覇しよう、唯一、気象状況にもよるが南極海に7日、上陸が6回予定され、他にも18の寄港地とそこから辿る目的地に心ときめく魅力を感じる企画だったから。タティング良く保険の満期や結婚50年目などの事もあり、贅沢かなとは思ったものの大奮発して1番上等の部屋をとる事にした。

100日越えのクルーズというと、豪華客船? 着替えは? ドレスアップは? パーティは? 海は? かなりで退屈しない? などの質問が多い。私達が選んだ船は4万トン足らずの中流客船、豪華客船ではない。もともとおしゃれ音痴だし、船は南廻りだから持ち込む服は殆ど夏・秋物、南極も夏なので北海道スキー位の用意をしたら長靴など必要な品々は貸してくれると聞いたので、キヤプテンとの食事会やレセプションなどでの礼を失しない程度の少し派手目の服と靴、ごまかしの効く小物を少々用意して他はほとんど普段着の持ち込みで済ませた。アドバイスを受けて船内生活用の小物とおやつ類なんかで、最終的には特大の段ボールに詰め込んだ3ケースを船に送った。

神戸港で見送りと厳重なチェックを

受け、船に乗り込むといきなり派手な生バンドの出迎えがあり、旅立ちの感激に身も心も浮足立った。部屋は最上10階のバルコニー付き、早速、直前に購入したI-PATで船上からの景色をパチリ・パチリの筈がスマホの勉強もしないまま乗り込んだため、操作も出来ず大騒ぎとなり、それが珍騒動クルーズ旅の幕開けとなった。

18の寄港地ではオプシヨントゥアー・オーバードラフトゥアーそれぞれに沢山あり各々が自分の好み、勿論別途料金なども勘案して選ぶ。行き先別に日程も違うが、ずっと船の中だけを楽しむ人達もいる。多くは列車、飛行機、車などで移動し、次の寄港地で母船と合流する。

12月、横浜を出港した船は神戸で私達を乗せ3日後上海、7日後にシンガポール、赤道を越えモリシヤスには20日後であった。これだけでも悠々たるインド洋の船旅で満喫するものがあったが、これはまだまだ序奏であった。訪れたのはレユニオン島（仏領）、マダガスカル、モザンビーク・ジンバブエ（南ア）、リオデジャネイロ（ブラジル）、モンテビデオ（ウルグアイ）、ブエノスアイレス・ウシュアヤ（アルゼンチン）、ブタアレアス・パルパライソ（チリ）カヤオ（ペルー）、イースター島（チリ領）、パペーテ・ボラボラ島（タヒチ、仏領）、アピア（サモア）等15カ国、それと人類共有の財産と定め『南極条約』で守られたどの国にも属さない地球最後の秘境、南極大陸とである。

五大陸の1部はすでに旅をした、今回は時間がかかって行きにくく、むかし教科書の中で見聞きした所ばかり、これらの国や島々を目の当たりにした感激はいうまでもないが、見ると聞くでは大違いと言う現実も痛感する事になる。

『星の王子さま』でお馴染みのバオバ

ブ大木そびえるマダガスカルは世界最貧国の一つと言われるが、はだしてボロ服をまとった子ども達がきらきら目を輝かせ笑顔一杯で走り回る姿は、子育て時代大人気だった絵本『ちびくろサンボ』(差別本として廃刊となった)の姿に重なり、海と山、大自然、潤沢な果物、明るい太陽と空気に溢れ何物にも代えがたい豊かさに満ちていた。

南アのクルーガー国立公園ではサファリカーで広大な区域を走り、象やキリン、シマ馬やインパラと多数出会い、ライオン家族とゆつくり並走し、木の上で昼寝をする豹を望遠で見かけた、勇猛な大自然!!

ケープタウンではテーブルマウンテンに圧倒され、社会科で習った喜望峰がここだ!と感慨深く、大西洋をブラジルへと向かう。

明るい太陽が眩しいブラジルのリオはオリンピック放映でお馴染みのコパコパードの丘、往年の映画で観たコパカーバーナ・イパネマビーチなど、大胆なトップレス姿も多く見かけられ、お国柄が楽しめた。

ブエノスアイレスでは本場のアルゼンチンタンゴと情熱的なダンスに魅了され、鉄串の炭焼き肉シユラスコのボリウウムに驚きながらもお腹いっぱい肉をほおばった。

南米大陸最南端ウシユアアは地の果てと言われるパタゴニア大自然に囲まれた港町、ここから4千トン級の船に乗り換え南極に向う。到達までには荒波狂うドレーク海峡をほぼ2日かけて通過せねばならない、南極自然保護の為の規制も多い。今回のクルーズ約1000人中、ツアー参加は約80名、別途約100万+α(部屋代)が要る。海峡の荒波に投げ飛ばされ腰椎骨折、南極滞在中ずっとベッドの中という人もいた。静寂な空気、一面の雪と氷、青い海と空以外何もないのに想像を超える圧倒的で神秘的で雄大な景色。六

大陸目への上陸、愛らしいペンギンやアザラシの出現は別世界、イルカの群れ、クジラ、アホウドリなどに出会えた事も嬉しかった。



マゼラン海峡を横目に太平洋に出て、チリの首都サンティアゴからは飛行機を乗り継ぎボリビアへ、四駆に分乗し標高約3600mの高所ウユニ塩湖(秋田県と同等の広さ)に到着した。高山病に気を付けながら若者に絶大な人気の奇跡の空間を楽しむ。一面真っ白な塩の結晶上にわずかな水があると鏡の様に天空が映り不思議な感覚の幻想的な世界が広がる。どこまでも続く白銀の塩原は息をのむ絶景である。濃度50%越えの塩で出来たホテルに2泊した。

ペルーからはいよいよ南太平洋の島々へ、どの陸からも周囲20000km、絶海の孤島のイースター島着は出航から6日後。モアイ像が予想に反して海を背に立っていた。諸説あるが、以外にも悲しい島民同志の権力闘争の果ての姿、外部侵入者の害も加わり森林も殆ど消えたいらしい。

ゴキギンが愛したタヒチでは本場での絵を見たいと楽しみにしていたのに、1点もないばかりか彼が幼い娘を手籠めにし、島民から嫌われていた事実を知らされ落胆してしまった。サモアでは『宝島』『ジキル博士とハイド氏』を書いたステイヴンソンが島民の尊敬を集めていた。しかし

カル映画そのまま、夢の様に澄んだ南太平洋の近海では島民に知ら



される事なく200回ほどのフランス水爆実験が行われていたそうだ。その他、書ききれない事象は膨大にある。船内生活は超多忙で朝6時から太極拳・ラジオ体操、テラスデッキでモーニングコーヒー、ピアノ演奏の中の朝食、毎日夕刻に配られる船内新聞のTV欄のようなスケジュール表から自分好みの講座を選び参加する。朝から麻雀の人もいれば語学講座で自分磨き、ギターやダンス教室、世界遺産講座、夜には天文台の先生と南十字星を探す・など企画は多種多様で、昼食も忘れる程忙しい。食欲に飛び廻っても部屋に帰ればハウスキーパーが用をすませてくれているし、3時にはコーヒも届く。食事作りの心配もなく、和・洋・中それぞれ好みのレストランに行けばそれなりの食事もとれるし居酒屋も開く。主婦にとっては夢の様なお姫様生活だった。(帰国後は地獄?)

山好きの人ならご存知の田部井淳子さんの乗船を楽しみにしていたが、出航前に他界され残念、しかしモンテビデオに入港した際、来日され人気絵本にもなった『世界で一番貧しい大統領』の元ウルグアイ大統領ムヒカ氏が乗船。「人生の時間を大切に、スーパに置いてないのは時間だけ、際限なく欲しがり、いくらあっても満足しないのが貧しい人、シンプルな人生を楽しんでほしい」等と講演して下さり感動した。

多くの国を廻って、紛争・戦争の傷跡がない国はない。現時点において日本は治安も良く、清潔・安心・安全・豊かで美しい国と言える。

振り返って、この地球の惑星そのものももっとも美しい物であり続けられる様に、大国の横暴に振り回されることのないように、小さな事からでも謙虚に、学びながら努力しなければ・と思った。

は島民に知ら

惜別

全日制二十九期 吉田 薫

全日制二十九期の同窓会『saku ra 29』を十五年前に立ち上げてくれた山澤健二君が、昨年十二月十六日に脳幹出血のため、ご家族、友人の祈りもむなしく五十九歳で亡くなった。在学中は落語研究会と演劇部で活躍し、卒業生代表として答辞を読んだ後、笑福亭仁鶴師匠に弟子入りを認められ、「仁勇」という芸名を授かった。その後、テレビで引つ張りだになることはなかったが、私は二十歳くらいの頃、仁鶴さんがワイドショーで「うちのように勉強する弟子がおりますねん。仁勇でいいましてな……」と言っておられるのを聞いて、「ああ、ケンちゃんがんばってるんや」と思ったのをよく覚えてる。

長い年月が経ち、四十代半ばで再会したとき、追試不合格で十八年後に定時制で桜塚を卒業したこと、その定時制で講師として上方芸能史を教えること、お金にならないことばかりして、奥さんに『ジジミの貝柱』と呼ばれていることなどを愉快そうに聞かせてくれた。そのお金にならないことをどれだけしていたかを知ったの



桜塚落語会 繁昌亭にて



山澤健二さん

はお通夜の席だった。さまざま地域・文化活動で彼を頼りにしていた人たちが弔問に訪れ、その数に芸能関係者は一様に驚いていた。そして出陣に送られ、とうとう出棺というとき、あちこちから嗚咽とともに「ありがとう」という声があがり続けたことを同窓生として誇りに思いたい。

桜塚高校をこよなく愛し、長年、尚和会の活動にも携わり、この十数年は役員として尽力していたと聞く。

「みんなを見送って、俺が最後のひとりになる」と豪語していた彼を突然失っていたが、『saku ra 29』を途絶えさせないことが何よりの供養と、今年還暦を迎える二十九期生の第三回『大同窓会』が九月に開催される。ひとりでも多くの懐かしい顔が一堂に集まったよ」と天に向かって報告できることを願っている。ケンちゃん、何度でも言うわ。ありがとう。



29期生恒例お花見 ゾウ公園にて

第十四期同窓会 盛況!

第十四期幹事代表 渡邊 憲一

平成30年3月17日(土曜日)の朝、雨か、と思っていたら何とか晴れ!ホッとしました。11時頃からクラス幹事さん達が準備のためにやって来てくれました。会費の受付、名札の手渡し、参加者名簿に近況集、それに加えて1年から3年迄の当時の級友一覧表などの参加者への配布をあらかじめ役割分担していたクラス幹事さん達が待ち構える中を、参加者が入ってくる度に、親しい友達だと大きな声で久しぶりの再会を喜び合いながら挨拶を交し合ういきいきとした姿はとも後期高齢者のゾーンに入る人達だとは思えない活気あふれる情景でした。

さあ、ところで開催前にチョットしたハッピーングがありました。今朝になって参加予定の笠松恵子さんがどうしても体調がすぐれず欠席せざるを得ない、という知らせが入ったのと、勿論「大丈夫?」と皆さん心配したのですが、ともかく体調の具合が一日でも早く回復されることを願うほかありません。...残念ですが。

ホテルアイボリーの同窓会会場は桜塚高校同窓会の尚和会が毎年年度総会をする大広間で準備され、テーブルは当時のクラスの数だけ、9テーブルが配置され、クラス名の看板が掲げられてBGMに桜塚高校校歌が流される中を入场してくる参加者が着席するのを待って、開始時刻の正午頃を見計らって、司会進行役の阿部恒久君の声でガイダンスが始まりました。まず初めに亡くなられた同期生に対して黙祷を捧げた後、しばらくして田尾雅彦君がある元気で明るい声を出して「乾杯」の音頭をとり、宴がスタートいたしました。会食は「和洋会席料理」です。皆さんの評価を後で聞くと「まあまあ」とか「美味しかった」とか、そこそこの評判を得たようです。よかったです!



宴会の途中では伊丹二郎君が持参してくれたカラオケセットを使って6、7人で「北国の春」を歌うグループがあり、司会進行役の阿部君の指名を受けて、自分の人生履歴の一コマを語る人あり、数人で楽しそうにおしゃべりを続けている人達あり、「飲み放題」にしたおかげでおいしい日本酒を味わっている人あり、...: 本心に男性、女性を問わず皆さん元気で声の張りも身体の動きも、この年齢の人達とは思えないエネルギーを感じたのは私一人ではなかったと思います。

正午から午後3時まで十分楽しんだ宴の最後に「元氣印」の田中一禎君が「締め」の挨拶をしてくれて、十四期同期会の楽しい一日は無事幕を閉じました。

同期会開催予告

全日制15期(昭和38年卒)卒業55周年記念同期会予告

昨年の会報でもご案内しましたが、本年平成30年の同期会は卒業55周年記念として、「リメンバー修学旅行—あの感動をもう一度!」で実施します。

当時の日程を再現し、2泊3日の行程です。

スケジュール

Table with 4 columns: 日次, 月日, 行 程, 宿泊施設. It details a 2-night, 3-day itinerary starting from Fukuoka on 9/10 and ending back in Fukuoka on 9/12.

全日制 15期会 代表幹事 大島光昭 (Tel [redacted])

桜塚高校全日制29期生 第3回大同窓会のお知らせ ~感謝・気持ちは18歳~

私たち桜塚高校全日制29期生も還暦を迎える年齢となり、10年ぶりの大同窓会を下記のとおり開催する運びとなりました。

ご多忙とは存じますが、しばし日々の雑事を忘れ、楽しいひと時をご一緒できればと、一人でも多くのご参加をお待ちしております。

日時: 2018年9月23日(日) 12時受付13時開宴 会場: 新阪急ホテル

さくら29事務局 長谷一郎 お問合せ、ご連絡は

までお願いします。

全日制35期同期会のお知らせ

早いもので私たちが桜塚高校を卒業して35年になりました。5年前の前回も多数の参加をいただきましたが、今回「卒業35周年記念同期会」を開催しますので、ご参加をお願いします。詳細につきましては夏ごろにお送りします。

日時 2018年11月3日(土) 13時~

場所 ホテルアイボリー 3階 オーキッドホール

会費 5500円(予定)

連絡係・お問い合わせ 桑田 誠 (桜塚高校全日制 理科)

お便りから



平成二十九年五月から平成三十年二月までにお送り頂いたものの中から掲載しています。

旧職員 80周年 月に娘の
旧職員 80周年 送りいた
苑恩露園
元気なう
益々の御
祝で失礼
旧職員 現・勤
講師
旧職員 この所
が不可能
の出席を
旧職員 創立80
90周年1
をお祈り
旧職員 お世話
旧職員 野球部
統の重み
いました
旧職員 創立80
女学校一 80周年
消息知り
女学校一 創立八
み教
生か
祝賀会
ておりま
女学校一 母校創

WEB 版非公開

す。明朗、...
懐かしく思
女学校三期 今年、満
ら元気に、
遠き学生時
女学校三期 いつも有
女学校三期 会報有り
えました今
めきます。
女学校三期 80周年記
す。出席す
まいました
女学校四期 お世話様
子供や孫曾
う少し沙婆
よろしく。
女学校四期 創立80周
めでとうご
5/21に結
女学校五期 80年とは
女学校五期 昭和19年
大野にいま
ますが祝と
かしこ
女学校五期 平成29年
う。今後益
女学校五期 有難うご
しなつかし
女学校六期 楽しみで
様。ありが
白寿まで...
女学校六期 元気にし

WEB 版非公開

女学校六期 母校も傘
います。
女学校六期 大変御世
りまして、
ごしまし
女学校六期 80周年御
人始めいと
窓生がいま
女学校七期 会報で元
名を見て、
展と皆様の
ます。
女学校七期 付き添い
てもらいま
女学校七期 創立80周
(渡辺良子)
過ごしてお
女学校八期 尚和会会
創立80周年
かりのお祝
亀谷郁子さ
使い感謝申
女学校八期 尚和会報
でも近年は
しいこと
名前を見つ
年を最後の
ます。
女学校八期 とても、
た。ずっと
女学校八期 今はもう、
ない、美し
した友達も
業生で、い
ました。今

WEB 版非公開

す。いつも
女学校八期 母校創立
益々のご登
併中一期
由子(よ
トがいまし
由起夫の事
全日制二期 高四期の
を讀ませて
の成立ちな
にとつて大
全日制二期 紅い屋根
を思い出し
上げます。
全日制三期 お世話に
もって出席
おられる事
当にスママ
全日制三期 全三期生
岳部OB会
30回目の
全日制三期 80周年お
全日制三期 役員方の
優秀な桜塚
にエール送
全日制三期 創立80周
主人は92
ています。
出席出来ま
全日制四期 創立80周
交を温める
謝しており
全日制四期 腰を痛め
シルバーク

WEB 版非公開

全日制四期 3・30よ
年と共に祝
ます。
全日制四期 総会費払
おかけしま
れ様でした。
全日制四期 尚和会、
にしていま
全日制四期 幹事様御
記念総会に
すが盛大な
致します。お
お願い致し
全日制五期 桜塚80周
日出席出来
わずかです
全日制五期 創立80周
在82才の私
なと思つてい
全日制五期 11/6(日
に行こうの
く観ました
(豊能町)に
いました。
全日制五期 地域のこ
ます。3月
曲目の「群
るそです。
全日制六期 ありがと
ましたが、
からもどう
全日制六期 骨折入院
全日制六期 会報20、
掲載され、男

WEB 版非公開

全日制十五期 いつもお世話
す。これから
全日制十五期 創立80周年
全日制十五期 役員の皆様
ありがとうございます
の会報、い
ながら、ひと
ていただきま
全日制十五期 80周年記念
すようお祈り
頂くのを楽し
全日制十五期 いつもお世
に入り、大事
又、兄までが
います。遅く
しくお願い致
全日制十五期 創立80周年
期の大島会長
皆様いつもお
全日制十五期 80周年記念
います。
全日制十五期 盛大に開催
す。
全日制十六期 桜塚高校の
祈るような気
全日制十六期 おかげ様で
しかし70歳を
痛い所が出て
い事とあきら
全日制十七期 盛会を祈つ
全日制十七期 古希を迎え
様です。箕面

WEB 版非公開

全日制十七期 2020年
業55周年17期
を楽しみにし
全日制十七期 1月7日の
た。今回は卒
ク2020年
楽しみにして
全日制十七期 2017年
念同窓会を
つて17期の教
に戻ったひと
なさま、あり
全日制十七期 いつも会報
稀の夏は暑か
いやられます
全日制十七期 創立80周年
報読ませて頂
つた時間を思
全日制十八期 創立80周年
でとうござい
全日制十九期 お世話役の
います。
全日制十九期 毎週金剛山
全日制十九期 久しぶりに
しております
全日制二十期 80周年の盛
全日制二十期 役員の皆様
会には出席し
に母が亡くな
いただきまし
支援する多
全日制二十期 尚和会の会

WEB 版非公開

全日制二十一 益々の発展
す。80周年お
校の校歌の歌
した。覚えて
役で頑張っ
全日制二十一 退職し、のん
全日制二十二 80周年記念
才を迎え現役
にゴルフや旅
す。泉州（岸
母校近くを訪
末長くご発
ます。
全日制二十二 陰ながら応援
全日制二十二 総会出席でき
全日制二十三 母（高女1期
ます。私が桜
母親孝行だ
全日制二十四 できる事が、
したい事が、減
らしく元気に
す。
全日制二十五 『3年7組と
は総勢17名で
りました。今
大阪新阪急ホ
す。25期卒業
んか？
全日制二十五 引き続き、大
週1日、労働
なりにより
全日制二十五 80周年誠にお
全日制二十六 お世話にな

WEB 版非公開

全日制二十九 いつも懐かし
います。先日
け、嬉しく思
わったのです
全日制二十九 80周年おめで
つまでもお元
全日制二十九 創立80周年
ご負担をお掛
もご自愛下
全日制二十九 いつも会報あ
業して40年
た。
全日制三十期 創立80周年
会保険労務士
のレッスン等
先生の話題が
史を感じます
全日制三十一 いつもお世話
うございます。
全日制三十二 懐かしい恩師
顔が浮びまし
で後5年を切
全日制三十二 80周年おめで
ただいたご縁
全日制三十二 80周年おめで
全日制三十四 現在、上新電
員です。
全日制三十四 創立80周年
友学園の報道
を思い出して
全日制三十五 創立80周年
母、叔父、甥
ますますの発

WEB 版非公開

全日制三十六 楽しみにして
全日制三十六 行けるとい
ました。楽し
全日制三十七 息子が高校を
ターゲットせ
す。3人も充
しいです。
全日制四十期 最近SNSで
ることが多
全日制四十期 創立80周年
とうございま
段取り、大へ
います。
全日制四十期 いつも会報を
全日制四十二 80周年おめで
り、在校生卒業
り申し上げます
全日制六十七 創立80周年
定時制六期 常に世の平和
し、母校の栄
5-1
定時制七期 居
桜塚高校と同
のが、楽しみ
してあります。
定時制五十五 創立80周年
近はお医様と
ります。



WEB 版非公開

WEB 版非公開

平成二十九年に同窓会へ
連絡をいただいた物故者芳名

【お詫び】
 昨年の会報の物故者芳名の欄(38ページ)において、全日制49期、飯尾(佐熊) 怜子様を誤って掲載してまいりました。ここに、ご住所等の変更のお申し出に対して誤った処理を致しましたことをご報告させていただきます。取り消し、訂正させていただきます。

飯尾様には大変失礼なことを致しましたことを深くお詫び申し上げますとともに、同期の方、お知り合いの方々にも多大なご迷惑をおかけいたしましたことを、心よりお詫び申し上げます。

今後このようなことのないよう、十分注意いたします。(平成29年総務担当・平成30年広報担当 副会長 崎阪 治)

尚、49期は本号の無料送付対象期にあたりませんが、本件周知のため全員の皆様に発送させて頂きました。

WEB 版非公開

WEB 版非公開

平成29年度 会報代・協力金
 ◆ご協力ありがとうございました◆
 (金額は納入合計額)
 こちらは、平成29年2月1日~12月31日に、お振り込み頂いた協力金です。総会参加費(1万円)、80周年記念誌代(1,200円)は含まれておりません。

●旧職員 二千円
 三千円
 三千八百円
 四千円
 五千円
 六千円
 一万円
 一万二千円
 五万円
 ●女学校1期 千円
 二千円
 三千円
 四万円
 二万円
 一万二千円
 ●女学校2期 千円
 二千円
 三千円
 ●女学校3期 千円
 六千円

WEB 版非公開

●女学校4期 千円
 八千八百円
 五千円
 六千円
 三千円
 五千円
 三千円
 二千八百円
 二千円
 八千八百円
 ●女学校5期 千円
 六千円
 三千八百円
 四千円
 三千円
 二千八百円
 二千円
 二千円
 二千八百円
 五千円

WEB 版非公開

●女学校6期 千円
 二千円
 三千円
 三千八百円
 四千円
 四千八百円
 五千円
 六千円
 一万円
 一万二千円
 ●女学校7期 千円
 二千円
 三千円
 五千円
 七千円
 五千円
 一万円
 一万二千円
 ●女学校8期 千円
 二千円
 三千円
 四万円
 二万円
 三千円
 四千元
 六千円
 九千円
 一万円
 一万二千円

WEB 版非公開

●全日制1期 千円
 二千円
 三千円
 六千円
 一万円
 一万二千円
 ●全日制2期 千円
 二千円
 三千円
 四千円
 五千円
 ●全日制3期 千円
 三千円
 四千円
 五千円
 三千八百円
 三千円
 二千円
 二千円
 三千八百円
 ●全日制4期 千円
 一万二千円
 二万円
 二万円
 二万円

WEB 版非公開

●全百制5期
千円
一万二千円
一万円
八千八百円
六千八百円
六千円
五千円
四千円
三千八百円
三千円
二千円
千八百円
千八百円

WEB 版非公開

千八百円
二千円
九千円
●全百制6期
一万二千円
一万円
六千円
五千円
四千円
三千八百円
二千五百円
三千円
千八百円
二千円

WEB 版非公開

三千円
二千円
八千円
●全百制7期
八千八百円
八千円
二万二千円
二万一千円
三万一千円
四千八百円
六千円
三千八百円
四千円
三千円

WEB 版非公開

三千八百円
四千円
三千八百円
●全百制8期
八千八百円
一万円
一万二千円
五千円
四万八千円
四千円
三千八百円
三千円

WEB 版非公開

五千円
四千円
三千八百円
三千円
二千円
八千円
●全百制9期
一万円
八千円
六千円

WEB 版非公開

千八百円
二千円
●全百制10期
五千二百円
五千円
八千円
二万二千円
二万六千六百円
六千円
六千円
三千円
四千円
五千円
六千円
八千八百円
八千円
二万二千円
●全百制11期
三万二千円
三万一千円
八千八百円

WEB 版非公開

三千円
二千八百円
●全百制12期
九千円
九千円
一万円
一万二千円
六千八百円
六千円
五千円
四千円
三千円
三千円

WEB 版非公開

三千円
二千八百円
二千円
千八百円
●全百制13期
八千八百円
六千円
五千円
四千円

WEB 版非公開

●全百制14期
七千円
八千八百円
一万二千円
四万八千円
六千円
五千円
四千円
三千八百円
三千円
二千円
二千円
●全百制15期
三万一千円
一万二千円
一万円
八千八百円
七千円
六千円
五千円
四千円

WEB 版非公開

●全百制16期
千円
一万二千円
八千八百円
六千円
五千円
四千円
三千八百円
二千三百円
二千三百円
二千円

WEB 版非公開

二千円

●全日制17期
千円

三千八百円
四千円

二千八百円
三千円

二千円

WEB 版非公開

六千円

五千円

四千円

三千八百円

三千円

二千円

千八百円

●全日制18期
千円

一万二千円
一万円

六千円

五千円

四千円

三千八百円

三千円

WEB 版非公開

●全日制20期
千円

一万二千円

六千円

五千円

四千円

三千円

千八百円
二千円

●全日制19期
千円

八千八百円

一万二千円

一万三千円

一万二千円

WEB 版非公開

千八百円
二千円

●全日制22期
千円

八千八百円

一万二千円

五千円

四千円

三千八百円

三千円

二千円

●全日制21期
千円

六千八百円

八千八百円

一万円

一万二千円

六千円

五千円

四千円

三千八百円

三千円

二千円

千八百円

WEB 版非公開

四千円

三千八百円

三千円

二千円

●全日制24期
千円

一万二千円

六千円

四千円

三千八百円

三千円

千八百円

二千円

●全日制23期
千円

一万二千円

四千円

五千円

六千円

三千円

WEB 版非公開

千八百円
二千円

●全日制26期
千円

一万二千円

六千円

五千円

四千八百円

四千円

三千八百円

三千円

二千円

●全日制25期
千円

一万九千八百円

一万二千円

六千円

五千円

WEB 版非公開

●全日制29期
千円

七万三千五百円

一万円

六千円

四千円

三千八百円

三千円

千八百円

二千円

●全日制28期
千円

六千円

四千円

三千八百円

三千円

二千円

●全日制27期
千円

八千八百円

六千円

五千円

四千円

三千円

WEB 版非公開

●全日制32期
千円

九千円

一万円

六千円

五千円

三千八百円

三千円

二千八百円

千八百円

二千円

●全日制31期
千円

三千円

二千円

●全日制30期
千円

一万円

五千円

四千円

三千八百円

三千円

二千九百円

二千円

WEB 版非公開

●全日制35期
千円

一万二千円

三千円

二千円

●全日制34期
千円

五千円

四千円

三千八百円

三千円

二千円

●全日制33期
千円

五千円

四千円

二千八百円

三千円

二千八百円

二千円

WEB 版非公開

●全日制40期
千円

一万二千円

四千円

三千円

二千円

●全日制39期
千円

千八百円

二千円

●全日制38期
千円

六千円

三千円

二千円

●全日制37期
千円

一万二千円

四千円

三千八百円

三千円

二千円

●全日制36期
千円

三千八百円

四千円

一万円

三千円

二千円

千八百円

WEB 版非公開

尚和会 平成29年度決算報告書・30年度予算書(案)

[収支決算] (自:平成29年1月1日 至:平成29年12月31日)

(単位:円)

Table with columns: 科目, 予算, 決算, 差引過不足, 備考, 30年度予算. Rows include 収入の部 (入会金, 会報代, etc.) and 支出の部 (事務費, 備品・雑品代, etc.).

[貸借対照表] (平成29年12月31日現在) (単位:円)

Table with columns: 借方, 貸方. Rows include 現金, 郵便振替口座, 通常郵便貯金, etc.

以上、決算報告いたします。

平成29年12月31日 財務担当副会長(定時制18期) 中島 健二 ㊟ 会計(全日制24期) 小西 明美 ㊟ 会計(全日制24期) 梅田 純子 ㊟

決算に対し監査の結果、誤りの無いことを報告します。

平成29年12月31日 会計監査(定時制13期) 中岸 澄江 ㊟ 会計監査(定時制13期) 塚本五十鈴 ㊟

尚和会役員(平成30・31年度)



副会長(総務担当) 全日制31期 佐藤稚加子 副会長(行事担当) 全日制15期 南正枝 副会長(財務担当) 定時制11期 永井俊輝 会長 全日制23期 後藤保二



会計監査 全日制16期 不可三隆夫 会計 定時制68期 板倉莉南 会計 全日制24期 梅田純子 副会長(広報担当) 全日制33期 嶋阪治

退任

平成29年12月16日付 逝去 山澤健二(副会長 全日制29期) 平成30年1月8日付 退任(任期満了) 大島光昭(会長 全日制15期) 中島健二(副会長 定時制18期) 小西明美(会計 全日制24期) 中岸澄江(会計監査 定時制13期) 塚本五十鈴(会計監査 定時制13期)



会計監査 全日制37期 味元 士

上記の他、会則に規定はありませんが慣例として、会長を退任された方々には名誉職の「顧問」として助言や相談等のご協力をいただいております。

「平成30・31年評議員会及び理事会開催予定日」

評議員会 平成30年 第3回平成30年9月8日(土) 会費制(会場未定) 平成31年 第1回平成31年1月14日(月・祝) 新年会 ホテルグランヴィア大阪 第2回平成31年2月23日(土) 桜塚高校 尚和会議室 理事会 平成30年 第3回平成30年5月12日(土) 桜塚高校 尚和会議室 第4回平成30年9月8日(土) 会費制(会場未定) 第5回平成30年11月10日(土) 桜塚高校 尚和会議室 平成31年 第1回平成31年1月14日(月・祝) 新年会 ホテルグランヴィア大阪 第2回平成31年2月23日(土) 桜塚高校 尚和会議室 (※各案内葉書は開催前にお送りします。)

母校創立80周年記念総会会計報告

Table with columns: 収入, 支出. Rows include 会費, 記念誌代金, ホテル費用, 記念植樹, etc.

差引収支1,648,439円は、平成29年度の総会費に計上されています。

尚和会会長 大島 光昭様

平成29年11月11日 役員候補指名委員会 委員長 田中 渡

尚和会役員候補指名委員会の報告

平素は尚和会活動に何かとご尽力頂きまして有難うございます。さて、役員候補指名委員会の選出に基づき、H29.10.15まで3回に渡り委員会を開催し、委員が努力して役員をご依頼申し上げましたところ、快く受理していただきました。その結果、全員一致で推薦することになりました。よろしくお取り計らいの程、お願い申し上げます。

役員候補指名委員会

委員長 全日制11期 田中 渡 委員 全日制9期 上野 由美 委員 全日制14期 渡邊 憲一 委員 全日制15期 上田 幸子 委員 全日制35期 桑田 誠 委員 全日制37期 味元 士 委員 全日制44期 島内 健

東京支部だより

尚和会東京支部 平成29年度決算報告 30年度予算

【決算報告】(自:平成29年1月1日 至 平成29年12月31日) (単位:円)

科目	予算	決算	差引過不足	備考	30年度予算
収入の部					
懇親会会費	0	0	0		644,000
協力金	0	25,000	25,000		320,000
本部支援金(A)	400,000	400,000	0	本部援助金(A)(平成29年度)	400,000
本部支援金(B)	0	0	0		400,000
祝儀	0				0
利息収入	0	4	4		0
雑収入		0			0
計	400,000	425,004	25,004		1,764,000
支出の部					
事務費	50,000	9,567	40,433	事務用品・封筒代・プリンターインク代・コピー用紙代 コピー代	176,000
通信費	150,000	35,420	114,580	案内状発送代・宅急便代・切手代・宛名ラベル	220,000
交通費	50,000	25,260	24,740	交通運賃代	60,000
会合費	100,000	42,220	57,780	役員会会合費・貸室代	70,000
総会費	0	32,200	▲32,200	若手発掘事業の一環として西洋美術館入場料	1,725,000
慶弔費	0	0	0		0
雑支出	0	11,450	▲11,450	振込手数料650、前田憲男コンサート 花東贈呈10,800	20,000
予備費	0	0	0		50,000
計	350,000	156,117	193,883		2,321,000
1 差引当期収支	50,000	268,887	▲218,887		▲557,000
2 前期繰越金	406,587	406,587	—		675,474
3 (1+2)合計	456,587	675,474	—		118,474
4 次期繰越金	—	675,474			118,474

借方	貸方
現金	38,542
郵便振替口座	51,164
普通預金	585,768
合計	675,474
	次期繰越金
	675,474
	合計
	675,474

以上、決算報告いたします。 決算に対し監査の結果、誤りの無いことを報告します。

平成29年12月31日

平成29年12月31日

会計(高17期) 笠原 健夫 ㊞

会計監査(高17期) 黒須 益子 ㊞



ご挨拶

平成30年3月吉日

尚和会東京支部 支部長の竹村慶三(全日制17期)でございます。東京支部は2年に一度総会・懇親会を開催しており、昨年はその中間年度として、懇案の若い会員の支部活動参加推進策として若手発掘事業を展開。

当初10月22日(日)開催を計画しましたが、台風接近もあって順延を余儀なくされ30年1月13日(土)に実施。国立西洋美術館での美術鑑賞・懇親会を開催して15名が参加して「母校桜塚と今を語り合う楽しい一日」をすし明日に繋がる支部活動・活性化となりました。(掲載の写真をご覧ください。)

今年は、年間最大行事として9月に第11回東京支部総会・懇親会開催を予定しておりますので多くの参加をいただき、OB、OGが集い輪をあげ語らう「楽しい桜塚三味の一日」にしたいと役員一同考えておりますのでよろしくお願いいたします。(東京支部会員の皆さまには後日別途案内状を送付いたします。)

引き続き尚和会本部の運営活動方針に沿い更なる支部活動充実に向け、会員相互の連絡と親睦を図るとともに、母校及び尚和会の発展に寄与・貢献したいと考えております。何卒よろしくお願ひ申し上げます。

簡単ではございますが、支部長挨拶とさせていただきます。

尚和会東京支部 支部長 竹村 慶三(全日制17期)



お知らせ

住所変更・物故情報等の電話での受付は、間違い防止のため中止させていただきました。届出用紙による郵便、FAX、または必要事項を記載したメールでの届けをお願い致します。

全日33期 広報担当副会長 崎阪 治

会則検討プロジェクトチーム

80周年に全力を尽くすために見合わせておりました会則の見直しですが、本年度より着手いたします。広く皆様のご意見を反映するためプロジェクトチーム方式で行ないたいと思います。法律家の方、規則制定や運営のご経験のある方をはじめ尚和会へのご意見を頂戴したいと考えておりますので、是非ご参加下さい。(担当:総務 佐藤雅加子)

お手伝いいただける方は、尚和会(sakurazuka@sakura-showakai.net)までご連絡をお願いします。



会報編集部員

会報は、これまでは広報担当として一部メンバーが担当していましたが、広くご意見をいただきたく、ご指導をお願いします。編集形式やレイアウトは、是非ご参加下さい。(担当:広報 崎阪治)

編集後記

尚和会では、母校創立八十年の大きな節目を終え、長年お務めいただいた大畠前会長をはじめ多数の役員が退任されました。ご苦労様でした。

そして、新体制になったのですが、一時は私一人しか残らないという非常事態に遭遇し、「それなら私もやめます!」とわめておりました。そんな中で、指名委員会の皆様にも大変なご苦労をお掛けしつつ、南副会長と梅田会計には翻意していただき、また新たなメンバーの皆様にもご英断を賜り、本来の期日を八日過ぎてようやく新体制が発足しました。しかし、役割分担も難航し、例年よりかなり遅いスタートで編集作業が始まりました。加えて、山澤前広報担当副会長が急逝されるという不幸も加わり、事実上未経験の私が手探りでなんとか発行にこぎ着けました。一時はどうなることかと思いましたが、皆様のご協力に深く感謝申し上げます。

尚和会新体制は、逼迫している財政立て直しを最大の使命としており、ページ数もすこし少なくさせていただきました。しかしながら、内容を「尚和会発」、「学校発」、「会員発」に整理し、現在の学校の姿など皆様が望んでおられるのではないかとと思われる情報は精一杯盛り込んだつもりです。行き届かないところは多々あるかと思いますが、皆様の温かいご理解とご指導をいただければ幸いです。

九十年百周年に向かつて力強く突き進む母校と尚和会の発展に尚一層のご支援とご協力を賜りますよう、今後ともよろしくお願ひ致します。